3-263-705-**04**(1)

ポータブルミニディスクレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Net MD

MDLP

MZ-N920

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

8〜12ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ACパワーアダプターのプラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

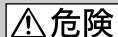
動作がおかしくなったり、ACパワーアダプターや充電スタンドなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

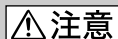
❶ 電源を切る
❷ ACパワーアダプターをコンセントから抜く/パソコンから専用USBケーブルを抜く
❸ お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

分解禁止

行為を指示する記号

強制

電波障害自主規制について
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

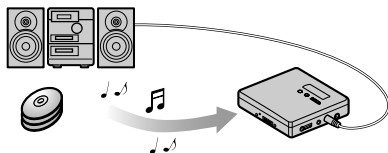
- 本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償についてはご容赦ください。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。
  （お問い合わせ先　（社）私的録音補償金管理協会　Tel.03-5353-0336）

- "ウォークマン"、"WALKMAN"はヘッドホンステレオ商品を表すソニー株式会社の登録商標です。 WALKMAN はソニー株式会社の登録商標です。
- SonicStage、MD Simple Burner、OpenMG、Net MDおよびそれぞれのロゴはソニー株式会社の商標です。

本機でできることと付属のマニュアルについて

このページでは、ポータブルMDレコーダーでできることとマニュアルについて説明しています。下記を参照して必要なマニュアルをお使いください。

本機を使うときは

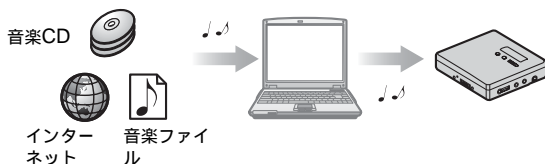
本体にCDプレーヤーやマイクなどをつないで録音し、録音したものを再生して楽しむことができます。

取扱説明書（本書）

本機の操作全般について説明しています。
本機を操作中に問題が起きたり、メッセージが表示されたときの対処方法も記載しています。

➡ 困ったときがあったとき、もっと知りたいときは

取扱説明書（本書）の「困ったとき」（75ページ）や
「MD知っ得Q&A」（87ページから）をご覧ください。

パソコンで付属のソフトウェアを使うときは

本機に付属しているソフトウェアSonicStage/MD Simple Burnerを使って、本体とパソコンの間で音楽データを転送することができます。

インストール・操作ガイド
SonicStage Ver.2.0
MDウォークマン用MD Simple Burner Ver.2.0

付属のソフトウェア（SonicStage Ver.2.0/MD Simple Burner Ver.2.0）の使いかたについて説明しています。

SonicStage Ver.2.0ヘルプ

パソコンの画面で見るマニュアルです。
付属のソフトウェアSonicStage Ver.2.0の使いかたについて、「インストール・操作ガイド」よりもさらに詳しく説明しています。また、SonicStage Ver.2.0をご使用中に困ったことがあった場合は、こちらをご覧ください。

パーソナルオーディオカスタマーサポート

インターネット上のホームページです。
本機と付属のソフトウェアの最新のサポート情報を見ることができます。

目次

基本編

応用編

困ったときは・Q&A

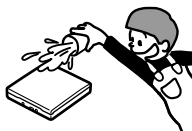
⚠警告

下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐにスイッチを切り、ACパワーアダプターをコンセントから抜き、パソコンから専用USBケーブルを外して、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

国内専用機は海外で使用しない

ワールドモデル以外のACアダプターは、日本国内専用です。
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

指定以外の充電スタンド、ACパワーアダプター、カーバッテリーコードなどを使わない

破裂・液漏れや過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

内部をむやみに開けない

本体および付属の機器は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。

ぬれた手でACパワーアダプターや充電スタンドをさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

本体やACパワーアダプター、充電スタンドを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

火のそばや炎天下などで充電・放置しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となります。

禁止

充電スタンドの上に金属を置かない

充電スタンドの端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

禁止

金属類と一緒に本体や乾電池ケースを携帯・保管しない

コイン、キーネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管すると、ショートし、発熱することがあります。

禁止

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。

禁止

はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、MD、CDやDATなど、雑音の少ないデジタル機器をヘッドホンで聞くときにはご注意ください。

禁止

通電中のACパワーアダプターや充電スタンド、製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

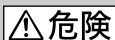
禁止

電池についての安全上のご注意

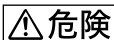
液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による**大けが**や**失明**を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニッケル水素
（Ni-MH）

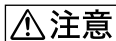
乾電池
アルカリ

⚠危険　充電式電池、乾電池が液漏れしたときは

充電式電池、乾電池の液が漏れたときは素手で液を触らない
液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠危険　充電式電池について

- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 指定された充電スタンド、ACパワーアダプター以外で充電しない。
- 充電式電池用キャリングケースが付属されている場合は、必ずキャリングケースに入れて携帯・保管する。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 指定された種類以外の充電式電池は使用しない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠警告　乾電池について

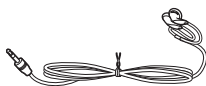
- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときや交流電源で使用するときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- 乾電池の＋と－、または乾電池ケースの端子と本体の乾電池ケース用の端子が金属とつながるとショートし、発熱することがあります。

⚠注意　乾電池について

- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

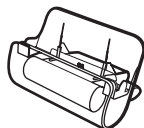
お願い

使用済み充電式電池は貴重な資源です。端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参ください。

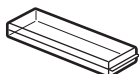
付属品を確かめる

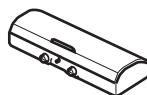
●ヘッドホン

●リモコン
（漢字・カナ表示対応）

●ACパワーアダプター

●充電スタンド

●専用USBケーブル

●充電式ニッケル水素電池
NH-14WM (A)

●充電池ケース

●キャリングポーチ

●乾電池ケース
（DC IN ジャックなし）

●MZ-N920 取扱説明書
●CD-ROM（SonicStage Ver.2.0／MD Simple Burner Ver.2.0）＊
●インストール・操作ガイド
SonicStage Ver.2.0/MDウォークマン用 MD Simple Burner Ver.2.0
●保証書
●ソニーご相談窓口のご案内
●カスタマー登録のお願い

＊ CD-ROMは音楽CDプレーヤーで再生しないでください。

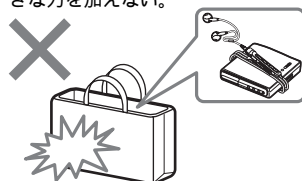
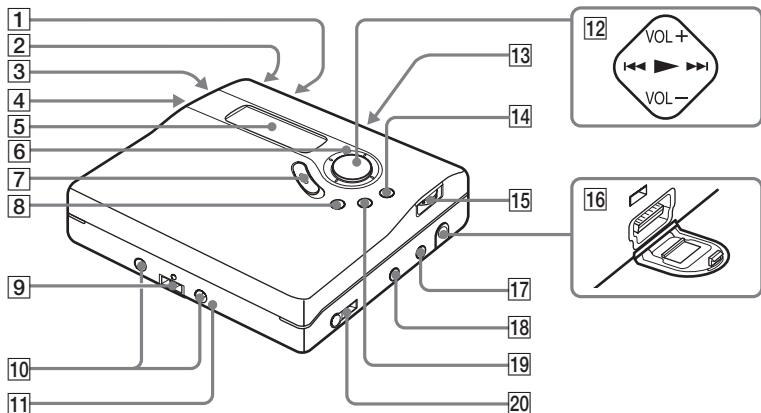
ご注意

本機をお使いになるときは、キャビネットの変形や故障を防ぐために、次のことを必ずお守りください。

- 本機をズボンなどの後ろのポケットに入れて座らない。

- 本体にリモコン／ヘッドホンを巻きつけたままかばんの中に入れ、外から大きな力を加えない。

各部のなまえ

本体

1 END SEARCHボタン
2 T MARKボタン
3 充電式電池入れ
4 HOLDスイッチ（裏面）
矢印の方向にずらすと、本体の操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。
5 表示窓
6 充電ランプ
7 RECつまみ／ランプ
8 ❚❚（一時停止）ボタン
9 充電スタンド取り付けジャック
10 乾電池ケース取り付け端子
11 DC IN 3Vジャック
12 集中コントロールキー

操作	機能
▶*を押す	再生
⏮を押す	頭出し、早戻し
⏭を押す	頭出し、早送り
VOL +*、–を押す	音量調節

13 OPENつまみ
14 GROUPボタン
15 ジョグダイヤル
(MENU/ENTER（決定))

回して選択

押して決定

16 USBケーブル接続用ジャック
17 LINE IN (OPT)ジャック
18 MIC (PLUG IN POWER)ジャック*
19 ■（停止）•CANCEL•CHGボタン
20 🎧/LINK OUTジャック

* 凸点（突起）がついています。操作の目印としてお使いください。

表示窓（本体）

1 再生モード表示
シャッフル再生、プログラム再生、リピート再生、グループ再生、ブックマーク再生などの再生状態を表示します。

2 シンクロ録音表示

3 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。

4 文字情報表示部
ディスク名や曲名、日付、エラー表示、曲番などが文字で表示されます。

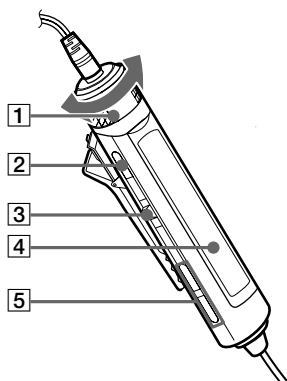
5 レベル表示

6 電池残量表示
充電式電池や乾電池の残量の目安を表示します。

7 録音モード表示
LP2ステレオ/LP4ステレオ/MONO（モノラル）

8 メロディータイマー表示

9 ディスク表示
録音、再生のとき、ディスク表示が回転します。

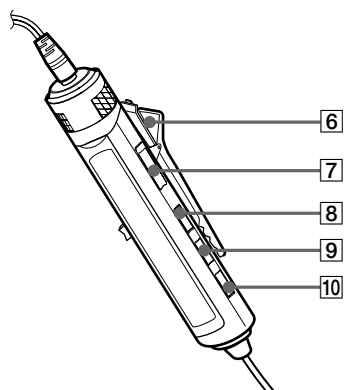
リモコン

1 VOL（ボリューム）（音量）＋、－つまみ

2 ■（停止）ボタン

3 ジョグレバー
（▶II/ENT（エンター）・I◀◀・▶▶I）

操作	機能
▶IIを押す	再生、もう一度押すと一時停止
ENTを押す	メニュー選択を決定
I◀◀を押す	頭出し、早戻し
▶▶Iを押す	頭出し、早送り

4 表示窓

5 🗀（グループ）＋､–ボタン

6 クリップ

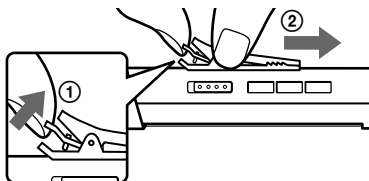
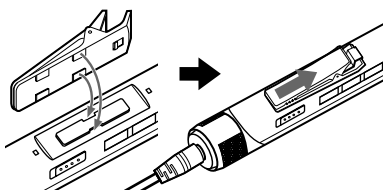
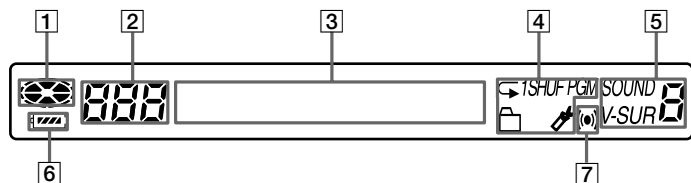
7 HOLD（ホールド）スイッチ
矢印の方向にずらして黄色いマークを表示させると、リモコンの操作ができなくなります。かばんの中などに入れて持ち歩くとき、ボタンが押されて誤動作するのを防ぎます。

8 DISPLAY（ディスプレイ）ボタン

9 P MODE（プレイ モード）/⮌ボタン

10 SOUND（サウンド）ボタン

リモコンクリップの使いかた

クリップをはずして逆向きに取り付けることもできます。

表示窓（リモコン）

1 ディスク表示
2 曲番表示部
3 文字情報表示部
4 再生状態表示
5 サウンド表示
6 電池残量表示
7 メロディータイマー表示

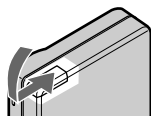
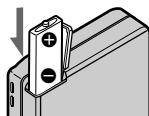
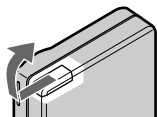
準備する

お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。ただし、ACパワーアダプターを本体につなげば、充電しなくても使用できます。

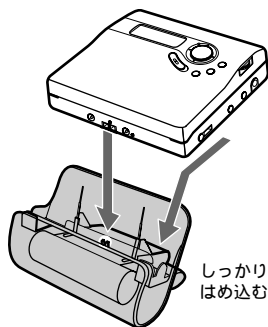
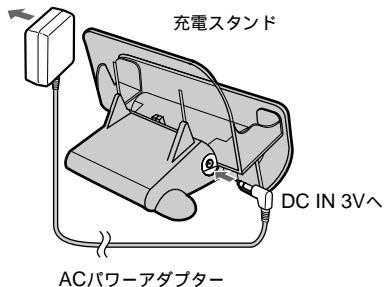
1 充電式電池を入れる

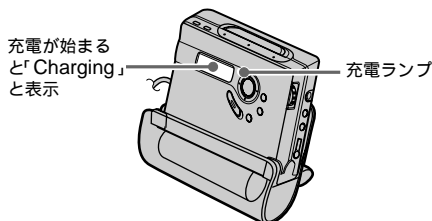
❶ **電池入れのふたを矢印の方向へ押しながらずらす。**

❷ **充電式電池を入れる。**
⊖側を奥にして入れてください。

❸ **ふたを閉める。**

2 充電する

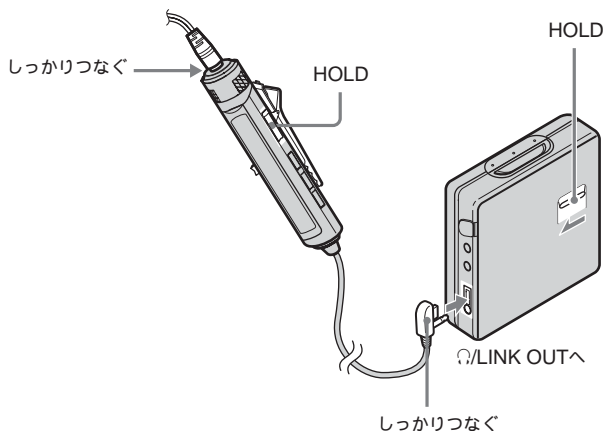
❶ **充電スタンドとACパワーアダプターをつなぎ、コンセントにつなぐ。**

❷ **本体を充電スタンドにのせる。**

❸ **充電ランプが点灯したことを確認する。**

❹ **充電ランプが消えたら、本体を充電スタンドからはずす。**

充電してもすぐに充電ランプが消える場合は充分に充電されています。使い切った状態から充電を始めると、約3.5時間で充電ランプが消え、充電が完了します。

3 リモコンをつなぎ、ホールドを解除する

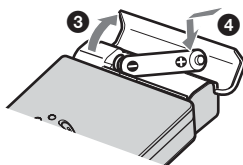
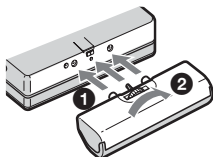
❶ **リモコンを本体につなぐ。**

❷ **ホールドを解除する。**

アルカリ乾電池と一緒に使って、長時間使用するときは

1　乾電池ケースを本体に取り付ける。

本体裏面

2　ソニーアルカリ乾電池(単3形)を1本入れる。

必ず⊖側から入れてください。

ACパワーアダプターを直接つないで充電することもできます。
本体のDC IN 3VジャックにACパワーアダプターをつなぎ、停止中に■・CANCEL・CHGボタンを押します。「Charging」が点滅し充電が始まります。放電しきった状態から充電が完了するまで約3.5時間かかります。
▭表示が消えたら充電完了です。充電時間は充電式電池の使用状態により異なります。

ご注意

- 充電中、再生などの操作をすると充電が停止します。
- 本体を充電スタンドに置いても、充電ランプがすぐに点灯しないことがありますが、しばらくすると表示され、充電が始まります。
- お買い上げ時や長い間使わなかった場合、充電式電池の持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、何回か充放電を繰り返すと充分充電されるようになります。
- 録音などで長時間お使いになるときは、家庭用電源（コンセント）につなぐことをおすすめします。電池をお使いの場合は、電池の消耗による失敗を防ぐため、充電式電池を充分に充電してお使いください。乾電池をご使用になるときは、新しい乾電池をお使いください。
- +5℃～+40℃内の温度の場所で充電してください。

充電時期は

ご使用中、本体やリモコンの表示窓の、電池残量表示でお知らせします。

 電池残量が少なくなっています。

↓

 電池が消耗しています。

↓

 残量がありません。表示窓に「LOW BATT」が点滅し、電源が切れます。

電池残量表示は実際の残量ではなく、あくまでも目安として表示しています。動作状況および環境により増減することがあります。

電池の持続時間[1]

電池の持続時間は周囲の温度や使用状態、電池の種類により、短くなることがあります。

録音 (JEITA[2])

使用電池	**ステレオ**	LP2 **ステレオ**	LP4 **ステレオ**
充電式電池[3]	約10時間	約13時間	約15時間
アルカリ乾電池[4]	約11時間	約17時間	約20時間
充電式電池＋アルカリ乾電池	約27時間	約36時間	約45時間

再生

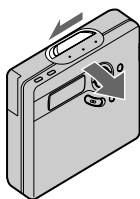
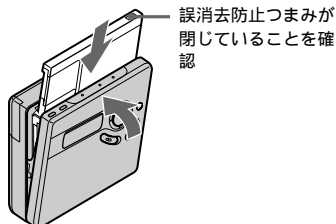
使用電池	**ステレオ**	LP2 **ステレオ**	LP4 **ステレオ**
充電式電池[3]	約31時間	約36時間	約44時間
アルカリ乾電池[4]	約44時間	約58時間	約69時間
充電式電池＋アルカリ乾電池	約78時間	約100時間	約116時間

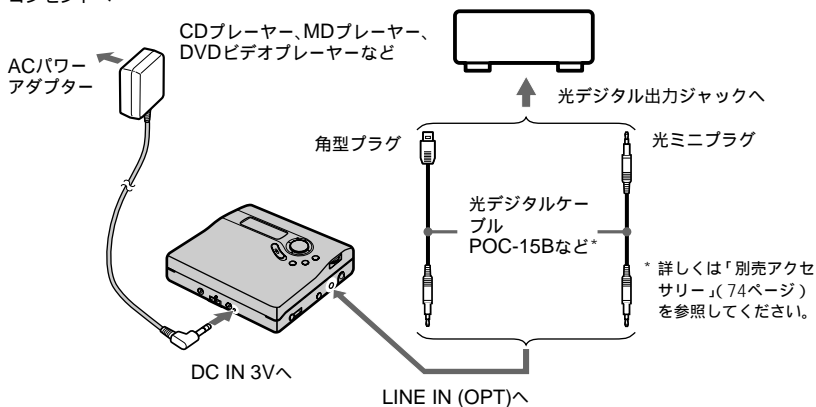
1) パワーセーブ機能ON時の値です。
2) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。
3) 充電式ニッケル水素電池NH-14WM(A)
4) 日本製ソニーアルカリ乾電池LR6(SG)で測定しています。

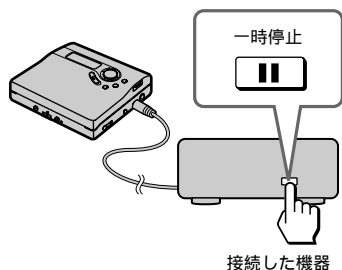
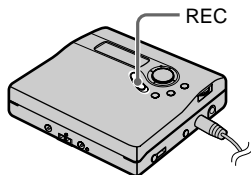
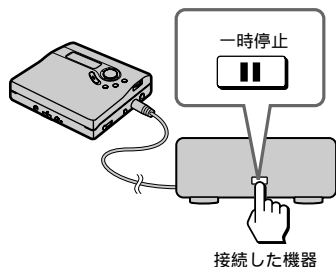
録音する

光デジタルケーブルを使って、CDプレーヤーやBSチューナーなどとつないでデジタル録音する方法を説明します。別売りの光デジタルケーブルをご用意ください。

1 録音用ディスクを入れる

❶ **OPENつまみをずらす。**
ふたが開きます。

❷ **ディスクのラベル面をふた側にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。**

2 つなぐ（奥までしっかりと差し込んでください。）

＊ 詳しくは「別売アクセサリー」（74ページ）を参照してください。

3 録音する

❶ **録音したいCDなどを一時停止にする。**

❷ **停止中にRECつまみを押しながらずらす。**
「REC」表示とRECつまみ中央部のRECランプが点灯し、録音が始まります。

❸ **CDなどの再生を始める。**
録音元のCDなどと同じところに曲番がつきます。

こんなときは	操作
止める	■を押す。
一時停止する	❚❚ を押す。[1] もう一度押すと解除されます。
ディスクを取り出す	■を押してから、本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける。 (「TOC Edit」の表示が消えるまでふたは開きません。)

1) 一時停止したところで曲番（トラックマーク）が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

録音が始められないときは

- ホールド（誤動作防止）スイッチを確認してください。（14、19ページ）。
- ディスクの誤消去防止つまみを確認してください。（73ページ）。
- 再生専用のディスクは録音できません。

録音状態を確認する

RECランプが点灯または点滅して、録音の状態をお知らせします。

録音の状態	表示
録音中	点灯 マイク録音中は音の強弱に合わせて点滅（ボイスミラー）
録音一時停止	点滅
録音中ディスクが残り3分以下のとき	ゆっくり点滅
トラックマーク(曲番)が追加されたとき*	一瞬 消灯
曲を転送するとき	速く点滅

* 手動でトラックマークを追加したときや、オートタイムマーク機能で追加したとき（32ページ）を除く。

ご注意

- 録音の際は、ACパワーアダプターを本体に直接つないでお使いになることをおすすめします。本体を充電スタンドに置いて録音する場合は、万が一本体が充電スタンドから外れたときでも録音が続けられるように、充分に充電した充電式電池を本体に入れて録音してください。
- 「TOC Edit」表示の点滅中は、録音した情報（曲の開始・終了位置など）を ディスクに記録しています。衝撃を与えたり、電源を抜いたりすると、それまで録音した内容が記録されません。
- 録音中や編集中、また、その後■ボタンを押してから「TOC Edit」の表示が消えるまえに電池をはずしたり、ACパワーアダプターを抜いたり、電池が消耗したときは、次に電源を入れるまでふたは開きません。
- ポータブルCDプレーヤーから録音するときは
  — ACパワーアダプターを接続していないと、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。その場合は、ポータブルCDプレーヤーにACパワーアダプターをつなぎ、家庭用電源でお使いください。
  — 音飛びガード機能（ESPやG-PROTECTIONなど）がONになっていると、光出力ができないポータブルCDプレーヤーもあります。その場合は、音飛びガード機能をOFFにしてください。

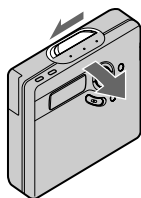
録音中に音を聞くことができます。

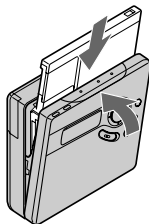
🎧/LINK OUTジャックにリモコン付きヘッドホンをつなぎます。聞こえる音の大きさはリモコンのVOL＋、－を回して（本体ではVOL＋、－を押して）調節できます。ただし、録音される音の大きさは影響されません。

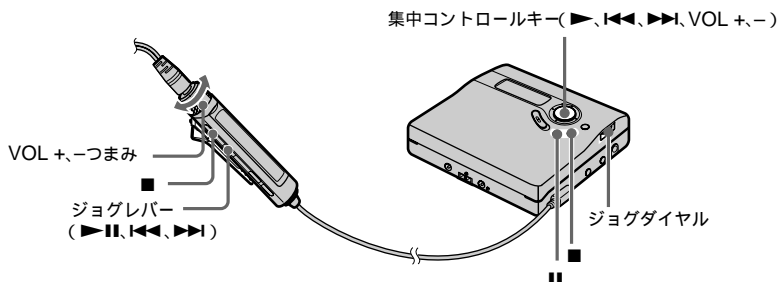
再生する

1 ディスクを入れる

録音済みのディスクを入れます。

❶ OPEN**つまみをずらす。**
ふたが開きます。

❷ **MDのラベル面をふた側にして矢印の向きに奥まで押し入れ、ふたを閉める。**

2 聞く

❶ **►を押す。リモコンではジョグレバーを押す(►II)。**
操作すると「ピ」と確認音がします。

❷ VOL＋、－**を押して、音量を調節する。リモコンでは**VOL ＋、－**つまみを回して、音量を調節する。**
表示窓で音量を確認できます。

止めるには、■を押す。
操作すると「ピー」と確認音がします。
停止してから、電池使用時では約10秒後、ACパワーアダプター使用時では約3分後に、自動的に電源が切れます。
次に再生するときは、止めたところの続きから始まります。

こんなときは	本体操作	リモコン操作
止める	■を押す。	■を押す。
一時停止する	❚❚を押す。 もう一度押すと解除されます。	ジョグレバーを押す（►❚❚）。 もう一度押すと解除されます。
曲番や曲名を直接選ぶ（ダイレクト選曲）	ジョグダイヤルを回して聞きたい曲を表示させ、押す。	—
今聞いている曲、またはさらに前の曲を頭出しする	❙◄◄を押す。またはさらに戻したい曲数だけ❙◄◄を押す。	ジョグレバーを❙◄◄側にずらす。またはさらに戻したい曲数だけ❙◄◄側にずらす。
次の曲を頭出しする	►►❙を押す。	ジョグレバーを►►❙側にずらす。
再生しながら早戻し／早送りする	❙◄◄または►►❙を押したままにする。	ジョグレバーを❙◄◄または►►❙側にずらしたままにする。
経過時間を見ながら聞きたい場所を探す（タイムサーチ）	一時停止中、❙◄◄または►►❙を押したままにする。	一時停止中、ジョグレバーを❙◄◄または►►❙側にずらしたままにする。
曲番を見ながら聞きたい場所を探す（インデックスサーチ）	停止中、❙◄◄または►►❙を押したままにする。	停止中、ジョグレバーを❙◄◄または►►❙側にずらしたままにする。
10曲ごとに頭出しする[1]	GROUPを押してから❙◄◄または►►❙を押す。	🗀 ＋または–を押す。
ディスクの最初の曲から再生を始める	停止中、►を2秒以上押したままにする。	停止中、ジョグレバーを2秒以上押したままにする（►❚❚）。
ディスクを取り出す	■を押してからOPENつまみをずらしてふたを開ける[2]。	■を押してから本体のOPENつまみをずらしてふたを開ける[2]。

[1] グループ再生中はグループの頭出しになります（39ページ）。
[2] ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります（パーソナルディスクメモリーに登録しているときを除く）。

再生が始められないときは

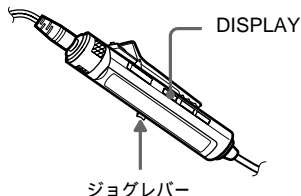
ホールド（誤操作防止）スイッチを確認してください（14、19ページ）。

ご注意

次のような場合、音が飛ぶことがあります。
- 強い衝撃が連続的に与えられた場合
- 傷や汚れのあるディスクを聞いている場合

メニュー操作のしかた

本機では録音や再生、編集に便利な機能をメニューを使って操作します。メニューの操作は下記の手順で行います。

リモコンで操作するには

1 DISPLAY**を2秒以上押す。**

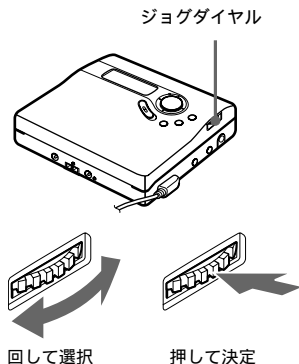
メニュー画面になります。

2 ジョグレバーをずらして、項目を選択する。

3 ジョグレバーを押して、項目を決定する。

4 表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。

最後にジョグレバーを押した時点で設定が確定します。

本体で操作するには

1 ジョグダイヤルを押す。

メニュー画面になります。

2 ジョグダイヤルを回して、項目を選択する。

3 ジョグダイヤルを押して、項目を決定する。

4 表示にしたがって、手順2と3を繰り返す。

最後にジョグダイヤルを押した時点で設定が確定します。

1つ前の段階に戻すには

■ボタンを押す。

途中で中止するときは

■ボタンを2秒以上押す。

メニュー一覧

ご注意

表示される項目は、操作状況やディスクの設定により異なります。

リモコンのメニュー

第一階層	第二階層	機能	参照ページ
EDIT	Name	曲名、ディスク名、グループ名をつける	49
	Group Set	グループを設定する	47
	GroupRelease	グループを解除する	49
	Move	曲やグループの順番を変える	53
	Erase	曲やグループを消す	58
USEFUL	PERSONAL	ディスクの設定を記録する	69
	Melody Timer	アラームを鳴らす（メロディタイマー）	68
	DPC	再生速度を変える	44
OPTION	AVLS	ヘッドホンからの音漏れを押さえる	66
	BEEP	確認音の設定をする	63
	BACKLIGHT	リモコン表示窓のバックライトの設定をする	66
	表示方式選択	表示の漢字優先／漢字カナ交互の設定をする	67
	PowerMode	すばやく再生を始める 電池の消耗を抑える	64 65

本体のメニュー

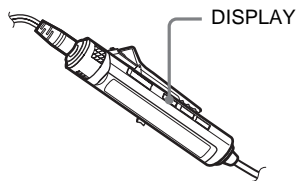
第一階層	第二階層	機能	参照ページ
EDIT	Name	曲名、ディスク名、グループ名をつける	50
	🗀 : Set	グループを設定する	48
	🗀 : Release	グループを解除する	49
	Move	曲やグループの順番を変える	54
	Erase	曲やグループを消す	59
DISPLAY	Lap Time	表示窓で情報を見る	37
	RecRemain (停止・録音中) / 1 Remain(再生中)		
	GP Remain		
	AllRemain		
	Title		
	Sound		
	Clock		

操作を始める前に

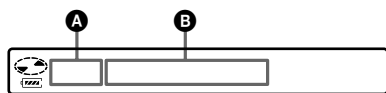
第一階層	第二階層	機能	参照ページ
PLAY MODE[1]	Normal	通常の再生	40
	1 Track	1曲再生	
	TrPLAY	ブックマーク再生	
	Shuffle	シャッフル再生	
	Program	プログラム再生	
	:Normal[2]	グループ再生	
	:Shuffle[2]	グループシャッフル再生	
	:Program[2]	グループプログラム再生	
SOUND	SOUND OFF	お買い上げ時の設定	43
	V-SUR	音の臨場感を変える（バーチャルサラウンド）	
	SOUND EQ	音質を変える（6バンドイコライザ）	
USEFUL	PERSONAL	ディスクの設定を記録する	70
	M-TIMER	アラームを鳴らす（メロディタイマー）	69
	DPC	再生速度を変える	45
	AUDIO OUT	ヘッドホン、LINK OUT[3]の設定をする	45
REC SET	REC MODE	録音モードを設定する	30
	RecVolume	録音レベルを手動で設定する	31
	TIME MARK	録音時、一定時間毎にトラックマークをつける	32
	MIC SENS	マイク録音時のマイク感度を設定する	33
	:REC	グループ録音をする	34
	SYNC REC	シンクロ録音をする	35
OPTION	AVLS	ヘッドホンからの音漏れを抑える	66
	BEEP	確認音の設定をする	63
	REC-Posi	録音開始位置の設定をする	64
	PowerMode	すばやく再生を始める 電池の消耗を抑える	64 65
	CONTRAST	本体表示窓の濃淡を設定する	67
	JOG DIAL	ジョグダイヤルの動きを変える	63
	CLOCK SET	時計を合わせる	62

[1] PLAY MODEで第二階層で再生モードを選んだあとに、再生を繰り返す／繰り返さない（RepeartON/RepeatOFF）設定をすることができます。
[2] グループ設定されたディスクのときに表示されます。
[3] 付属のリモコンが接続されていないときに表示されます。

表示窓で情報を見る

録音または停止中、表示窓で残り時間や曲番などの情報を確認できます。グループ機能に関係する表示は、グループ設定された曲を再生し、停止したときに表示されます。

1 **DISPLAYを押す。**

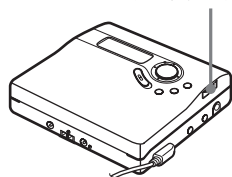
押すたびに、表示は次のように変わります。

リモコンの表示窓

A	B
曲番	経過時間
曲番	曲名
グループの全曲数	グループ名
総曲数	ディスク名
曲番	グループ名（上段）曲名（下段）
曲番	選ばれている各サウンドモード別表示
—	現在時刻

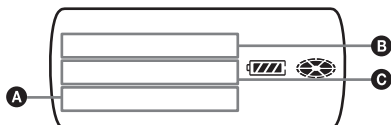
ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

再生中の表示については、37ページの「表示窓で情報を見る」をご覧ください。

本体で操作する

1 **メニュー操作で「DISPLAY」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回して確認したい情報を表示させ、押して決定する。**

本体の表示窓

回すたびに、表示は次のように変わります。

LapTime ←→ RecRemain ←→ GP Remain ←→ AllRemain ←→ Title ←→ Sound ←→ Clock

ジョグダイヤルを押すとA、B、Cに選んだ情報が表示されます。

A（選んだ項目）	B	C
—(LapTime)	曲番	経過時間
RecRemain	曲番	録音できる残り時間
GP Remain	グループ内の残り曲数	グループ内で再生できる残り時間
AllRemain	残り曲数	再生できる全残り時間
曲名（Title）	ディスク名	グループ名
サウンドモード名（Sound）	選ばれている各サウンドモード別表示	—

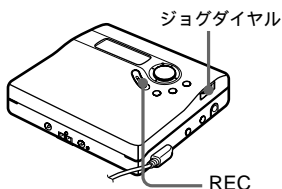
次ページへつづく

Ⓐ（選んだ項目）	Ⓑ	Ⓒ
Clock	年月日	現在時刻

ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

長時間録音する（MDLP）

通常のSPステレオ録音に加えて、録音時間を2倍(LP2)または4倍(LP4)長くしてステレオ録音することができます（MDLP録音）。またモノラル録音でも通常のSPステレオ録音よりも2倍長く録音することができます。
LP録音した内容は、MDLP再生に対応していない他の機器では再生できません。

1 **停止中に、メニュー操作で「REC SET」－「REC MODE」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回してお好みの録音モードを表示させ、押して決定する。**

録音モード[1]	表示	録音時間[2]
ステレオ録音	SP	約80分
LP2ステレオ録音	LP2	約160分
LP4ステレオ録音	LP4	約320分
モノラル録音[3]	MONO	約160分

1) より高音質の録音を行いたい場合は、ステレオ録音、LP2ステレオ録音を選んでください。
2) 80分ディスク使用時。
3) ステレオの音源をモノラル録音すると、左右の音がミックスされて録音されます。

4 **RECつまみを押しながらずらして、録音を始める。**

5 **録音もとの機器の再生を始める。**

録音を止めるには

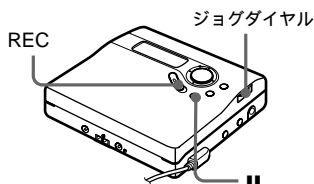
■を押す。
次に録音するときまで、録音モードは記憶されています。

MDLPまたはMDLPロゴのある機器が「LP2ステレオ」、「LP4ステレオ」に対応しています。

ご注意

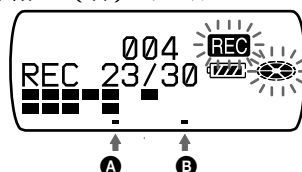
- 長時間録音するときはACパワーアダプターをつないでお使いになることをおすすめします。
- LP4ステレオ録音は、通常の4倍の長時間ステレオ録音を実現するために、特殊な圧縮方式を採用しています。そのため、録音元の音源によってはごくまれに瞬間的なノイズが発生することがあります。より高音質の録音を行いたい場合は、ステレオ録音またはLP2ステレオ録音を選んでください。

手動で録音レベルを調節する

録音中は、録音レベルは最適な値になるように自動的に調整されますが、必要に応じて手動で調整できます。アナログ録音のときはもちろん、デジタル録音するときでも調整できます（デジタルRECレベルコントロール）。

1 ▮▮を押したまま、RECつまみを押しながらずらす。
録音一時停止になります。

2 メニュー操作で「REC SET」－「RecVolume」－「ManualREC」を選ぶ。

3 録音したい音を出す。

4 表示窓を見ながらジョグダイヤルを回して録音レベルを調節する。
録音レベルは、Ⓐから Ⓑの間を目安にレベル表示のバーが点灯するように調整します。Ⓑより右が点灯するときは、録音レベルを下げてください。
画面に表示されるレベル表示のバーは次のように分かれています。
上段：L（左）のレベル
下段：R（右）のレベル

5 ▮▮を押して録音を始める。
他の機器とつないで録音するときは、本機が録音を始めた後で、録音元の音を最初から出し直してください。

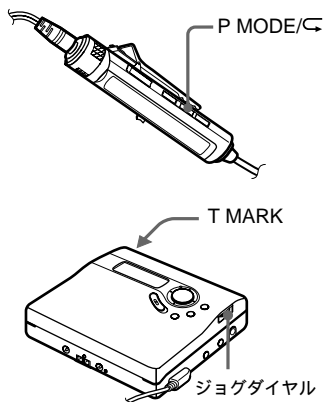
自動調節にするには

手順2で「Auto REC」を選ぶ。

ご注意

- 左右の音（チャンネル）のレベルは、別々に調節できません。
- 録音を止めると、次の録音からは自動レベル調節に戻ります。
- シンクロ録音中に手動で調節するときは、まずシンクロ録音が「SYNC OFF」の状態（35ページ）で、上記手順1～4を行い、録音レベルの調整をします。その後、シンクロ録音を「SYNC ON」にして、録音を始めます。

録音中にトラックマークをつける

録音中にトラックマーク（曲番）をつけて、曲や録音に区切りをつけることができます。

手動でつける

1 録音中、トラックマークをつけたいところで、T MARK（リモコンではP MODE/⊊）を押す。

自動でつける（オートタイムマーク）

会議や講義など、長い録音をするときに、一定時間ごとにトラックマークを自動的につけて、途中に目印をつけることができます。マイク録音、またはアナログ録音中にのみ設定することができます。

1 録音中または録音一時停止中に、メニュー操作で「REC SET」－「TIME MARK」－「ON」を選ぶ。

2 ジョグダイヤルを回してお好みの時間を表示させ、押して決定する。

「TIME:01」から「TIME:99」（1分から99分）までが表示され、1分刻みで設定することができます。

設定を解除するには

手順1で「OFF」を選ぶ。または■を押して録音を停止する。

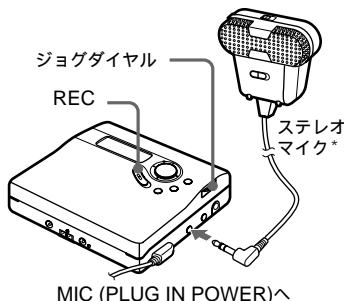
録音中のオートタイムマークのつきかた

- 録音している時間がトラックマークの設定時間を超えていたとき：
  設定をしたところでトラックマークがつき、以後設定時間ごとにトラックマークがつく
  例）録音時間8分、トラックマークの設定時間5分（TIME:05）のとき
  実際にトラックマークがつくのは、8分、13分、18分、23分・・・
- 録音している時間がトラックマークの設定時間より短いとき：
  トラックマークの設定時間に達したときから設定時間毎にトラックマークがつく
  例）録音時間3分、トラックマークの設定時間5分（TIME:05）のとき
  実際にトラックマークがつくのは、5分、10分、15分・・・

オートタイムマークでトラックマークをつけると、時間表示の前に「T」がつきます。

ご注意

- 録音の途中にT MARKボタンを押したり、❚❚を押して、トラックマークがついてしまったときは、その時点から設定した時間ごとにオートタイムマークがつきます。
- 録音を止めると、設定は解除されます。

マイクで録音する

* 詳しくは「別売りアクセサリー」（74ページ）を参照してください。

1 **別売りのステレオマイクを本体につなぐ。**
入力は自動的にマイク入力に切り換わります。

2 **RECつまみを押しながらずらして、録音を始める。**

マイク感度を変える

1 **停止中または録音中に、メニュー操作で「REC SET」－「MIC SENS」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回して「SENS HIGH」または「SENS LOW」を表示させ、押して決定する。**

- 「SENS HIGH」：会話など、通常の音量のものを録音するとき
- 「SENS LOW」：ライブ録音など、大音量を録音するとき

プラグインパワータイプのマイクをお使いの場合、電源は本体から供給されますので、マイクの電源をOFFにしても使うことができます。

ご注意

- 光デジタル入力、マイク入力、アナログ入力の順に優先して自動的に選択します。光デジタルケーブルがLINE IN (OPT)ジャックにつながっていると、マイク入力になりません。
- 本体の動作音を収音することがあります。そのときは、マイクを本体から遠ざけて録音してください。ダイレクト接続タイプのマイクはノイズを拾うことがあるのでご注意ください。
- モノラルマイクで録音すると、左チャンネルしか録音できません。

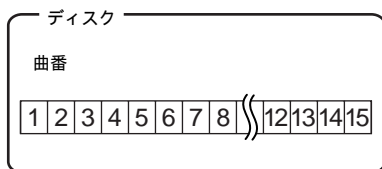
グループで録音する

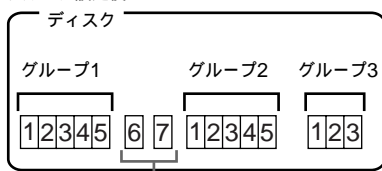
グループ機能とは

グループ設定されたディスクで、「グループ機能」を使うことができます。MDLP（LP2/LP4）モードで、1枚のディスクにCD何枚分かを録音したときや、シングルCDを集めて録音したディスクの再生をするときなどに便利な機能です。

グループ設定されたディスクとは？

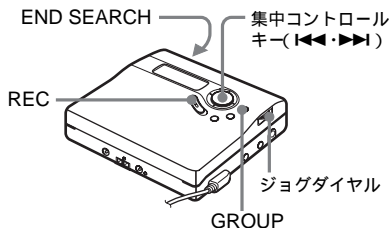
1枚のディスク内で、録音された複数の曲が、次の図のようにいくつかのグループにまとまっていることをいいます。

グループ設定前

1~5曲めを「グループ1」に
8~12曲めを「グループ2」に
13~15曲めを「グループ3」に
6、7曲めはグループに入れない

グループ設定後

グループに入っていない曲は「Group - -」に属しているとみなされる。

1枚のディスクには最大99個のグループを作ることができます。

ご注意

1枚のディスク内の曲名、ディスク名の合計が本機の最大入力文字数を超えている場合は、グループ設定はできません。

新しくグループを作って録音する

ディスクの最後に新しいグループを追加して録音します。

1 **停止中にEND SEARCHを押す。**

2 **GROUPを押したまま、RECつまみを押しながらずらす。**

3 **録音もとの機器の再生を始める。**
ディスクの最後に新しいグループが追加されます。

録音を止めるには

■を押す。
録音を止めると、そこまでが1つのグループとして記録されます。

録音をするとき、常にグループ録音するには

この設定をすると、次の録音から停止中にEND SEARCHを押し、RECつまみを右にずらすだけで常にグループ録音ができるようになります。MDLP録音などで、複数のCDをアルバム別に続けて録音する時などに便利です。
本体でのみ操作できます。

1 **停止中に、メニュー操作で「REC SET」－「🗀：REC」を選ぶ。**

2 **「🗀：REC ON」を選ぶ。**

設定を戻すには

「□：REC OFF」を選ぶ。

既存のグループに追加録音する

今あるグループの中に曲を追加します。

1 GROUP**を押し、**|◀◀ **または**▶▶|**を押して、録音を追加したいグループを表示させる。**

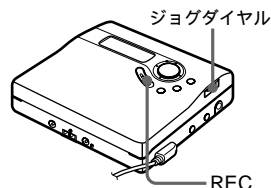
2 GROUP**を押したまま、**REC**つまみを押しながらずらす。**

3 **録音もとの機器の再生を始める。**

現在聞いているグループに曲を追加して録音するときは、再生を一時停止または停止させて手順2から行ってください。

録音元に合わせて録音を開始／停止する

（シンクロ録音）

録音元の音に合わせて録音を始めたり止めたりします。光デジタルケーブルを使ってつないだCDプレーヤーなどのデジタル機器から、本機へ録音するときに、録音元と本機の両方を操作する手間をはぶき、簡単に録音できます。光ケーブルで接続をしないとシンクロ録音はできません。

1 **接続する。**

録音元の機器に合わせて、別売りの光デジタルケーブルをお使いください。詳しくは「別売りアクセサリー」(74ページ) をご覧ください。

2 **停止中に、メニュー操作で「**REC SET**」－「**SYNC REC**」－「**SYNC ON**」を選ぶ。**

3 REC**つまみを押しながらずらす。**

「REC」表示とRECランプが点滅し、録音待機状態になります。

4 **録音したい**CD**などを再生する。**

録音元で音が出ると、自動的に本機で録音が始まります。

録音を止めるには

■を押す。

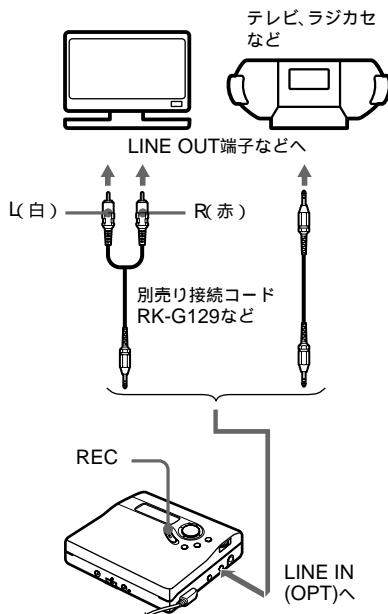
💡

シンクロ録音中に録音元で約3秒の無音が続くと、本機は自動的に録音一時停止になります。再び音を検知すると、シンクロ録音に戻ります。録音一時停止状態が5分以上続くと、自動的に録音が止まります。

ご注意

- シンクロ録音中は、手動で一時停止、または一時停止を解除することができません。
- 録音中は、「SYNC REC」の設定を切り換えないでください。正しく録音されないことがあります。
- シンクロ録音中に録音元で無音（92ページ）状態が続いても、録音元の雑音が原因で、自動的に録音一時停止にならない場合があります。
- CDやMD以外からのシンクロ録音中に、録音元の同一曲内で約2秒の無音（92ページ）が続くと、再び音が出たところで曲番が1つ増えます。

テレビやラジオから録音する（アナログ録音）

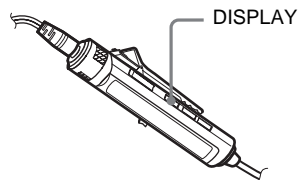
カセットテープやラジオ、テレビなどの「アナログ機器」から録音する場合や、MDから録音する場合の方法です。

1 接続する。

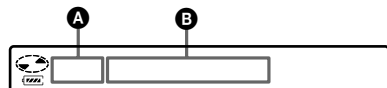
録音元の機器に合わせて、別売りの接続コードをお使いください。詳しくは「別売りアクセサリー」（74ページ）、「こんなこともできます」（87ページ）をご覧ください。

2 RECつまみを押しながらずらして、録音を始める。

3 録音したい音を出す。

表示窓で情報を見る

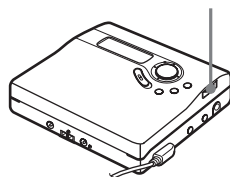
再生中に、表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。グループ機能に関係する表示は、グループ設定された曲を再生中の表示です。

1 再生中にDISPLAYを繰り返し押す。

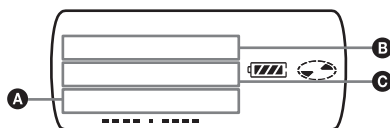
押すたびに、表示は次のように変わります。

表示A/B

A	B
曲番	経過時間
曲番	曲名
グループ内の全曲数	グループ名
総曲数	ディスク名
曲番	グループ名（上段） 曲名（下段）
曲番	選ばれている各サウンドモード別表示
—	録音した時刻
曲番	録音されたときのモード

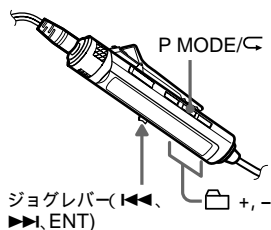
ご注意

ディスクのグループ設定状態、動作状態、設定状況により、表示が異なることがあります。

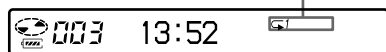
本体で操作する

1 再生中に、メニュー操作で「DISPLAY」を選ぶ。

2 確認したい表示モードを選ぶ。

表示A/B/C

A（選んだ項目）	B	C
— (LapTime)	曲番	経過時間
1 Remain	曲番	1曲中の残り時間
GP Remain	グループ名	グループ内で再生できる残り時間
AllRemain	残り曲数	再生できる全残り時間
曲名（Title）	ディスク名	グループ名
サウンドモード名（Sound）	各サウンドモード別表示	—
RecDate	録音年月日	録音時刻（Clock）

再生モードを選ぶ

1 P MODE/⊂**を繰り返し押す。**
押すたびに表示は次のように変わり、選んだ表示の状態で再生します。

再生モード表示

003　13:52

表示	再生状態
—	通常の再生（ディスク全曲を1回再生）
1	1曲再生（今再生している曲のみを再生）
✐	ブックマーク再生（ブックマーク（しおり）がついている曲だけを順番に再生）
SHUF	シャッフル再生（全曲を順不同に並べかえて再生）
PGM	プログラム再生（聞きたい曲を好きな順に並べかえて再生）
🗀*	グループ通常再生（グループ1から順にグループごとに再生）
🗀 *SHUF**	グループシャッフル再生（再生中のグループ内の曲をシャッフル再生、そのあと順に次のグループ内の曲をシャッフル再生）
🗀 *PGM**	グループプログラム再生（グループ単位で好きな順に並べ変えて再生）

* グループ設定されたディスクのときのみ表示されます。

グループの再生中、ディスク中でグループに設定されていない曲は一時的に1つのグループとしてまとめられ、一番最後のグループとして扱われます。このとき「Group – –」と表示されます。曲番はグループごとの番号ではなく、ディスクの通し番号で表示されます。

繰り返し聞く（リピート再生）

通常の再生や1曲再生、シャッフル再生、プログラム再生などを繰り返し聞くことができます。

お好みの再生モードで再生中、
P MODE/⊂を2秒以上押す。
⊂ が点灯します。

解除するには

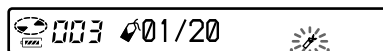
P MODE/⊂を2秒以上押す。

リピート再生中に、P MODE/⊂ボタンを押すと、リピートのままで再生モードを変えることができます。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマーク再生）

好きな曲にブックマーク（しおり）をつけていき、その曲だけを再生することができます。ただし、曲順を変えることはできません。

ブックマークをつけるには

1 **ブックマークをつけたい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。**
ブックマーク再生の1曲目が確定します。

ブックマークがゆっくり点滅

2 **手順1を繰り返してブックマークをつけていく。**
全部で20曲までつけられます。

ブックマークした曲を再生するには

1 **再生中、P MODE/⊂を繰り返し押して、「TrPLAY?」を表示させる。**

2 **ジョグレバーを押す。**
ブックマークのついた一番小さい曲番から順に再生が始まります。

ブックマークを消すには

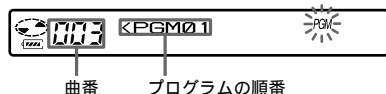
ブックマークを消したい曲を再生し、ジョグレバーを2秒以上押す。

ご注意

ふたを開けると設定は解除されます。

好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）

1 **再生中、P MODE/⊂を繰り返し押して、「PGM」を表示させる。**

2 **ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして曲番を選び、押して決定する。**

3 **手順2を繰り返して、好きな順に曲を選ぶ。**
全部で20曲までプログラムできます。

4 **選び終わったらジョグレバーを2秒以上押して決定する。**
設定が確定し、1曲目から再生が始まります。

再生が終わったとき、または途中で止めたときもプログラム設定は残っています。

ご注意

ふたを開けると設定は解除されます。

グループ再生する

グループ1から順にグループごとに再生したあと、グループ化されていない曲（「Group --」）を再生して終わります。

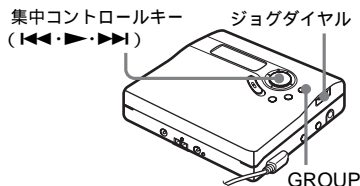
再生中、P MODE/⊂を繰り返し押して、「🗀」を表示させる。

グループの頭出し（グループスキップ）をするには

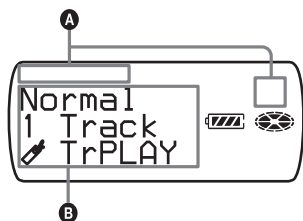
再生中、🗀 +または–を押す。
🗀 –ボタンを押すとグループの先頭曲に、続けてもう一度押すと前のグループの先頭曲に移動します。

好きな順にグループを並べかえて聞く（グループプログラム再生）

「好きな順に曲を並べ変えて聞く（プログラム再生）」（このページ）と同様の手順で「🗀 PGM」を表示させ、再生するグループの順番を設定します。全部で10個までプログラムできます。グループ内の曲順は変えられません。

本体で操作する

再生モードを選ぶ

1 **メニュー操作で「PLAY MODE」を選ぶ。**

2 **選択したい再生モードを選ぶ。**
Ⓑを選ぶとⒶが点灯する。

表示Ⓐ/Ⓑ	再生状態
—/Normal	通常の再生
1/1 Track	再生中の1曲を再生
/TrPLAY	ブックマークがついている曲だけを順番に再生
SHUF/Shuffle	全曲を順不同に並べかえて再生
PGM/Program	曲を好きな順に並べかえて再生
/ : Normal*	グループ通常再生（グループ1から順にグループごとに再生）
SHUF / : Shuffle*	イングループシャッフル再生（再生中のグループ内の曲をシャッフル再生、そのあと順に次のグループ内の曲をシャッフル再生）
PGM / : Program*	グループプログラム再生（グループ単位で好きな順に並べ変えて再生）

* グループ設定されたディスクのときのみ表示されます。

3 **「RepeatON」（繰り返して再生）または「RepeatOFF」（繰り返さずに再生）を選ぶ。**
「RepearON」を選ぶと、Ⓐに「⮌」が表示され、手順2で選んだ再生モードで繰り返し再生します。

好きな曲だけを選んで聞く（ブックマーク再生）

ブックマークをつけるには

1 **ブックマークをつけたい曲を再生し、▶を2秒以上押す。**
ブックマーク再生の1曲目が確定します。

2 **手順1を繰り返してブックマークをつけていく。**

ブックマーク再生するには

1 **「再生モードを選ぶ」の手順2で「TrPLAY」を選ぶ（このページ）。**

2 **「RepeatON」または「RepeatOFF」を選ぶ。**

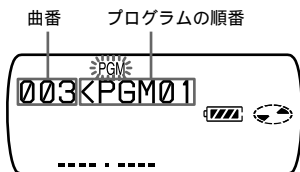
解除するには

ブックマークを消したい曲を再生し、▶を2秒以上押す。

好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）

1「再生モードを選ぶ」手順2で「Program」を選ぶ。

2「RepeatON」または「RepeatOFF」を選ぶ。

3 ジョグダイヤルを回して曲を選び、押して決定する。
選んだ曲が確定します。

4 手順3を繰り返して、好きな順に曲を選ぶ。

5 選び終わったらジョグダイヤルを2秒以上押す。

グループ再生する

「再生モードを選ぶ」の手順2で「🗀：Normal」を選ぶ。

グループの頭出し（グループスキップ）をするには

1 再生中、GROUPを押す。

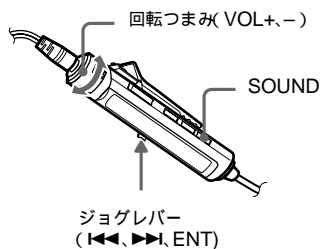
2 ⏮ または⏭押す。

好きな順にグループを並べかえて聞く（グループプログラム再生）

「好きな順に曲を並べかえて聞く（プログラム再生）」（上記）と同様の手順で「🗀 : Program」を表示させ、再生するグループの順番を設定します。全部で10個までプログラムできます。グループ内の曲順は変えられません。

好みの音にする（バーチャルサラウンド・6バンドイコライザ）

音の臨場感を変えたり、お好みの音質をリモコンで選択・設定することができます。
次の2つの効果から1つ選べます。

- V-SUR（**バーチャルサラウンド**）：音の臨場感を変える。（4種類）
- 6 BAND EQUALIZER（6**バンドイコライザ**）：音質を変える。（6種類）

臨場感を変える（バーチャルサラウンド）

1 再生中、SOUNDを繰り返し押し、「V-SUR」を選ぶ。

2 SOUNDを2秒以上押す。

いろいろな再生のしかた

次ページへつづく

3 **ジョグレバーを⏮または⏭側にずらしてサラウンドの種類を選ぶ。**

ジョグレバーをずらすたびにⒶとⒷが次のように変わります。

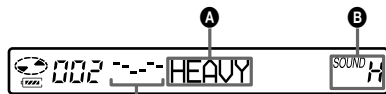
Ⓐ	Ⓑ
STUDIO	*V-SUR* S
LIVE	*V-SUR* L
CLUB	*V-SUR* C
ARENA	*V-SUR* A

4 **ジョグレバーを押して決定する。**

音質を選ぶ（6バンドイコライザ）

1 **再生中、SOUNDを繰り返し押し、「SOUND」を選ぶ。**

2 **SOUNDを2秒以上押す。**

3 **ジョグレバーを⏮または⏭側にずらしてサウンドの種類を選ぶ。**

各周波数ごとのレベル　100Hz～10kHz

ジョグレバーをずらすたびにAとBが次のように変わります。

Ⓐ	Ⓑ
HEAVY	*SOUND* H
POPS	*SOUND* P
JAZZ	*SOUND* J
UNIQUE	*SOUND* U
CUSTOM1	*SOUND* 1
CUSTOM2	*SOUND* 2

4 **ジョグレバーを押して決定する。**

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

設定を解除するときは

手順1でⒷに何も表示されていない状態を選ぶ。

好みの音質にする

「CUSTOM1」と「CUSTOM2」には、お好みの音質を記憶させることができます。

1 **上記の手順1～3を行い、「CUSTOM1」または「CUSTOM2」を表示させる。**

2 **ジョグレバーを押す。**

3 **ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして周波数を選ぶ。**

周波数（100Hz）

周波数は次の6つから選べます。
100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz

4 **回転つまみを繰り返し回してレベルを調節する。**

レベル（+10dB）

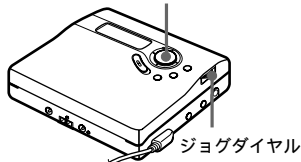
レベルは次の7段階から選べます。
–10dB、–6dB、–3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

5 **手順3と4を繰り返す。**

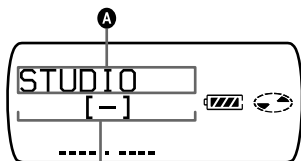
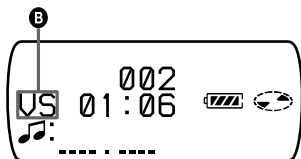
6 **ジョグレバーを押して決定する。**

途中で設定を止めたいときは
■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは
■を押す。

本体で操作する

臨場感を変える（バーチャルサラウンド）

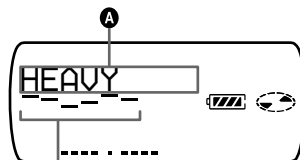
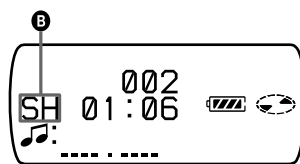
1 **再生中、メニュー操作で「SOUND」–「V-SUR」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回してサラウンドの種類を選び、押して決定する。**

ジョグダイヤルを回すと、Aが次のように変わり、ジョグダイヤルを押すと、Bが表示されます。

A	B
STUDIO	VS
LIVE	VL
CLUB	VC
ARENA	VA

音質を変える（6バンドイコライザ）

1 **再生中に、メニュー操作で「SOUND」–「SOUND EQ」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回してサウンドの種類を選び、押して決定する。**

ジョグダイヤルを回すと、Aが次のように変わります。
ジョグダイヤルを押すと、Bが表示されます。

A	B
HEAVY	SH
POPS	SP
JAZZ	SJ
UNIQUE	SU
CUSTOM1	S1
CUSTOM2	S2

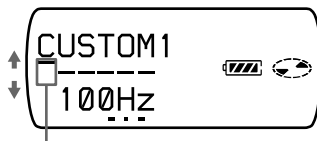
好みの音質にする

1 **再生中に、メニュー操作で「SOUND」－「SOUND EQ」－「CUSTOM1」または「CUSTOM2」を選ぶ。**

2 **⏮または⏭を押して周波数を選ぶ。**

周波数（100Hz）

周波数は次の6つから選べます。
100Hz、250Hz、630Hz、1.6kHz、4kHz、10kHz

3 **VOL+,–を押してレベルを調節する。**

レベル（+10dB）

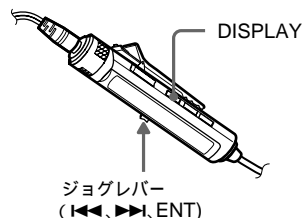
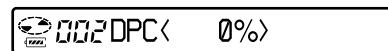
レベルは次の7段階から選べます。
–10dB、–6dB、–3dB、0dB、+3dB、+6dB、+10dB

4 **ジョグダイヤルを押して決定する。**

設定を解除するには

「SOUND OFF」を選ぶ。

再生速度を変える（デジタルピッチコントロール）

語学学習などで再生速度を変えたいときに便利です。音程を変えずに再生速度だけが変わります。
+100%～–50%までの13段階から再生速度を選ぶことができます。

1 **再生中に、メニュー操作で「USEFUL」—「DPC」を選ぶ。**
再生速度の設定画面になります。音を聞きながら選んでください。

2 **ジョグレバーを⏮または⏭側にずらして速度を選び、押して決定する。**
表示窓に「DPC」と表示されます。

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

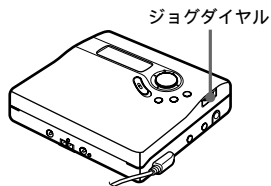
1つ前の設定に戻すときは

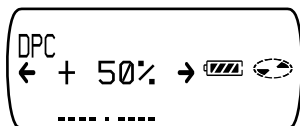
■を押す。

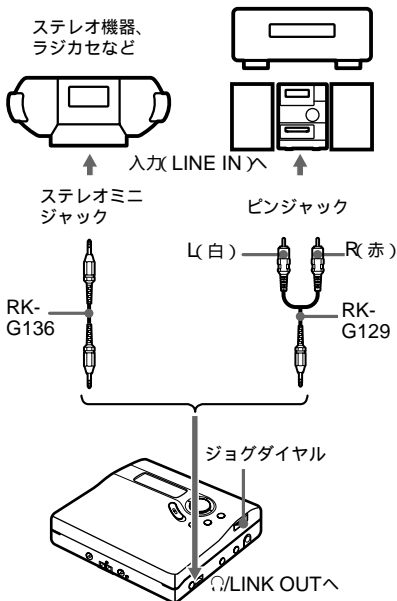
ディスクを出し入れすると、設定は0%に戻ります。

ご注意

再生速度を変えると、再生中に「プチプチ」という音が聞こえたり、エコーがかかったように聞こえる場合があります。

本体で操作する

1 **再生中に、メニュー操作で「USEFUL」－「DPC」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回してお好みの速度を選び、押して決定する。**

お手持ちのシステムで聞く（LINK OUT）

本機の再生音を、他のオーディオ機器で聞いたり録音したりすることができます。

本機の/LINK OUTジャックに別売りの接続コードRK-G129またはRK-G136をつないでから次の操作を行って、/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定をする必要があります。

1 **メニュー操作で「USEFUL」－「AUDIO OUT」－「LINK OUT」を選ぶ。**

ご注意

- 🎧/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINK OUT」になっていると、ボリュームやバーチャルサラウンド、6バンドイコライザは働きません。
- 付属のリモコン付きヘッドホンをつないでいるときは、🎧/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「LINK OUT」にすることができません。
- ヘッドホンを直接本体につなぐときは、🎧/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にしてください。

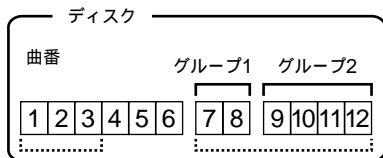
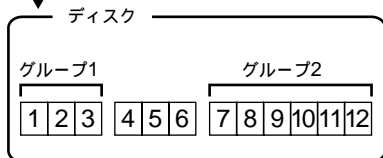
編集する前に

ミニディスクにトラックマーク（曲番）をつけたり、曲名やディスク名をつけたりすることができます。

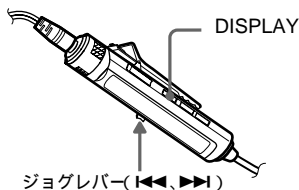
ご注意

- 再生専用ミニディスクの編集はできません。
- 誤消去防止つまみを閉めてください（73ページ）。
- 「TOC Edit」表示中は編集内容をディスクに記録しています。
  — 衝撃を与えないでください。
  — 電源を抜かないでください。
  — ふたは開きません。

グループを設定する

すでに録音してある曲をグループにまとめたり、複数のグループを１つのグループにまとめる、グループに含まれない曲をグループに入れることができます。
1枚のディスクには最大99個のグループを作ることができます。

1と3、2と4、3と7、8、4と9～12など、連続していない曲番やグループなどはまとめることができません。
操作中、曲番はディスク内の通し番号で表示されます。

ご注意

- 1枚のディスク内の曲名、ディスク名の合計が本機の最大入力文字数を超えている場合は、グループ設定はできません。
- まとめることができるのは連続している曲またはグループのみです。連続していない曲またはグループをまとめたい場合は、曲順またはグループの順番を並べかえて(53～55ページ)、まとめたい曲やグループを連続させてから行ってください。

1 **停止中に、メニュー操作で「EDIT」－「Group Set」を選ぶ。**

2 **ジョグレバーをずらしてグループの先頭にしたい曲を選んで表示させ、押して決定する。**

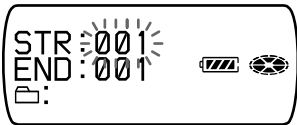
003 STR:001

3 **ジョグレバーをずらしてグループの最後にしたい曲を選んで表示させ、押して決定する。**

4 **グループ名をつける(「名前をつける」(50、51ページ)の手順3～5参照)。**

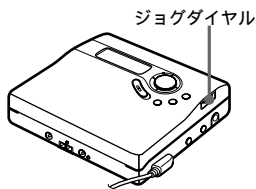
途中で設定を止めるときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

ご注意

- 手順2では、すでにあるグループの先頭曲かグループ設定されていない曲しか選べません。
- 手順3で最後の曲を選ぶときは、手順3で選んだ曲より後の曲しか選ぶことができません。また、まとめたいグループの最後の曲は、すでにあるグループの最後の曲かグループ設定されていない曲しか選べません。

本体で操作する

1 **停止中に、メニュー操作で「EDIT」－「🗀:Set」を選ぶ。**

STR(先頭の曲)の曲番が点滅します。

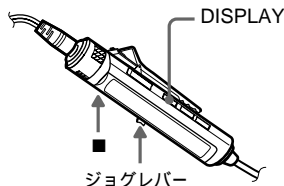
2 **ジョグダイヤルを回してグループの先頭にしたい曲を選んで表示させ、押して決定する。**

まとめたいグループの先頭曲が選ばれます。

3 **ジョグダイヤルを回してグループの最後にしたい曲を表示させ、押して決定する。**

まとめたいグループの最終曲が選ばれ、グループ名を入力できるようになります。

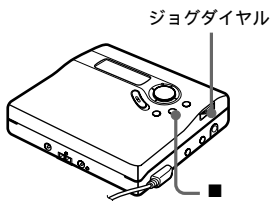
4 **グループ名をつける(「名前をつける」(50～52ページ)参照)。**

グループを解除する

1 **解除したいグループを選び（「グループの頭出し（グループスキップ）をするには」（39ページ））、内容を確認する。**

2 **■を押す。**

3 **メニュー操作で「EDIT」－「GroupRelease」を選ぶ。**
「Release?」、「PushENTER」が表示されます。

4 **ジョグレバーを押して決定する。**

本体で操作する

1 **解除したいグループを選び、（「グループの頭出し（グループスキップ）をするには」（39ページ））内容を確認する。**

2 **■を押す。**

3 **メニュー操作で「EDIT」－「🗀：Release」を選ぶ。**
「Release?」、「PushENTER」が表示されます。

4 **ジョグダイヤルを押して決定する。**
グループが解除されます。

途中で設定を止めるときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

名前をつける（ネーム）

文字パレットを使って曲名やディスク名をつけたり変えたりすることができます。

入力できる文字の種類

- カタカナ（半角）
- アルファベットA～Zの大文字、小文字
- 数字0～9
- 記号 ！ " ＃ ＄ ％ ＆ （ ） ＊ ． ； ＜ ＝ ＞ ？ ＠ ＿ ｀ ＋ － ' , ／ ： ␣（スペース）

入力できる文字数

曲名、ディスク名にそれぞれ約200文字（全文字種混在の場合）

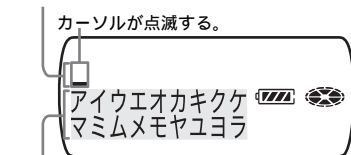
1枚のディスクに入力できる文字数

- 英数字／記号のみの場合：
  10文字程度で約120タイトル（最大約1700文字）
- カナ文字のみの場合：
  10文字程度で約60タイトル（最大約800文字）

文字数によって登録できるタイトル数は異なります。

文字パレットについて

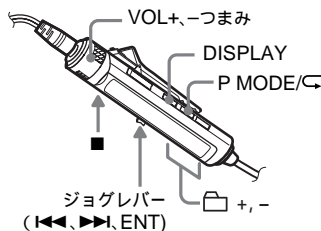
本体では表示窓に出てくる文字パレットから、文字を選んで入力します。文字パレットの文字配列は次のようになっています。

```
アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホ
マミムメモヤユヨラリルレロワヲン ゛゜ー ァィゥェォャュョッ
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ 123
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 456
.,–?!&'"/@;:()#$*<=>`+%_ 0 789
```

このように表示窓には文字パレットの一部しか表示されないので、集中コントロールキーでカーソルを動かして、文字を選びます。

ご注意

- ディスク名やグループ名に「abc//def」のように「//」を文字の間に入れると、グループ機能が使えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 付属のリモコンで漢字を表示することはできますが、漢字で名前をつけることはできません。付属のSonicStageソフトウェアを使うと、漢字の入力ができます。

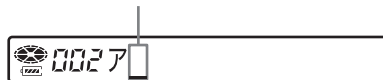
名前をつける

再生中、録音中、停止中、いずれの状態でも名前をつけることができます。ただし、停止中に曲名をつけるときは、名前をつけたい曲を選んでいる状態で名前をつけてください。グループに名前をつけるときは、再生中、録音中、停止中に名前をつけたいグループの中の曲を選んでいる状態で名前をつけてください。

1 **メニュー操作で「EDIT」–「Name」を選ぶ。**

2 **次の表示を選ぶ。**

つける名前	表示
曲名	Track Name
グループ名	GroupName
ディスク名	Disc Name

3 **VOL+､–つまみを回して文字を選び、ジョグレバーを押して決定する。**
選んだ文字が点灯して決定します。決定した次の文字位置でカーソルが点滅します。

次の位置でカーソルが点滅する。

文字入力に使うボタンと機能は次の通りです。

機能	操作
文字カーソルを左右に移動する。	ジョグレバーを⏮または⏭側にずらす。
文字を1文字ずつ変える。	回転つまみを回す（VOL +、–）。
文字を決定する。	ジョグレバーを押す。
名前を確定する。	ジョグレバーを2秒以上押す。
カナ→アルファベット→数字と記号の順に切り換える。	P MODE/⮌を押す。
カタカナ入力時に「ア」→「カ」→「サ」→「タ」の順に文字が選べる。	回転つまみを回したままにする（VOL +、–）。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	🗀 +を押す。
カーソル上の文字を削除する。	🗀 –を押す。
文字入力をやめる。	■を2秒以上押す。

4 **手順3を繰り返して名前をつける。**

5 **ジョグレバーを2秒以上押す。**

名前を変更する

「名前をつける」（50、51ページ）の手順で名前を変更してください。
ディスク名を変更するときは、録音中、再生中、停止中、いずれの状態でも変更できます。
曲前を変更するときは、曲の再生中、または停止中で曲を選んでいる状態で変更してください。

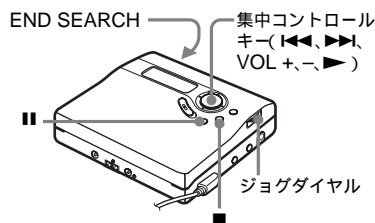
途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

ご注意

- カナ入力したタイトルを、カナ表示に対応していないミニディスク機器で表示させると、ローマ字表記になります。その際、先頭と最後に「ˆ」がつきます。
- 他の機器でつけた200文字以上の曲名やグループ名、ディスク名を、本機で書き換えることはできません。

本体で操作する

名前をつける

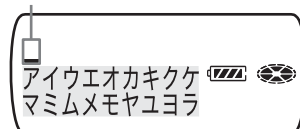
1 **メニュー操作で「EDIT」—「Name」を選ぶ。**

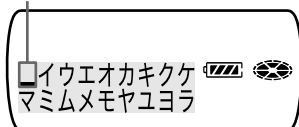
2 **ジョグダイヤルを回して次の表示を表示させ、押して決定する。**

つける名前	表示
曲名	♫ : Name
グループ名	🗀 : Name
ディスク名	⊖ : Name

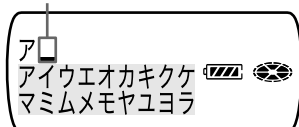
カーソルが入力エリアで点滅し、文字の入力状態になります。

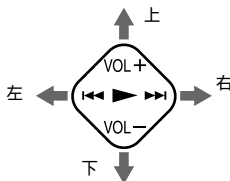
カーソルが点滅する

次ページへつづく

3 VOL –を押す。

カーソルが移動し､文字と交互に点滅する。

4 集中コントロールキーで文字を選び、►を押して決定する。

文字パレットで選んだ文字が入力エリアに表示され、次の文字位置でカーソルが点滅します。

次の位置で点滅する

文字入力に使うボタンと機能は次の通りです。

機能＊	操作
文字パレット上でカーソルを移動する。	• 集中コントロールキーを押す。 • ジョグダイヤルを回す（上下移動のみ）。
入力エリアで直接文字を選ぶ。	ジョグダイヤルを回す。
文字を決定する。	• ►を押す。 • ジョグダイヤルを押す。
カーソルを入力エリアから文字パレットに移す。	VOL –を押す。
カーソルを文字パレットから入力エリアに移す。	■を押す。
名前を確定する。	►またはジョグダイヤルを2秒以上押したままにする。
カーソルの前に1文字分の空白を入れる。	END SEARCHとVOL +を同時に押す。
カーソル上の文字を削除する。	END SEARCHとVOL –を同時に押す。
カーソル上の文字に濁点、半濁点をつける。	❚❚を押す。
記号：、–、／を表示させる。	❚❚を押す。
カーソル上のアルファベットの大文字／小文字を切り換える。 例：A→a	❚❚を押す。
カーソル上のカナ文字を促音に切り換える。 例：ツ→ッ	❚❚を押す。
文字入力をやめる。	カーソルが入力エリアのとき、■を押す。

＊ ボタンの機能はカーソルが入力エリアにあるときと、文字パレットにあるときで異なることがあります。

5 手順4を繰り返して名前をつける。

6 ジョグダイヤルを2秒以上押す。

名前が入力されます。

ご注意

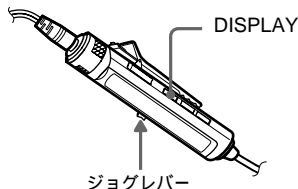
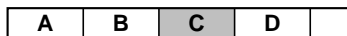
録音中に曲名、ディスク名を入力している途中で録音が終了した場合や、録音中に曲名入力をしている途中で次の曲が始まった場合は、それまでの入力が記録されます。

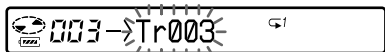
名前を変更する

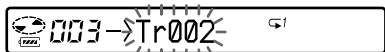
「名前をつける」（50〜52ページ）の手順で名前を変更してください。

曲順を変える(ムーブ)

曲を移動する

例:3曲目(C曲)を2曲目に移動するとき

1 移動したい曲の再生中に、メニュー操作で「EDIT」－「Move」－「Track Move」を選ぶ。

例えば、3曲目を移動するときは、表示窓に「→Tr003」と表示されます。

2 ジョグレバーをずらして、移動先の曲番を点滅させる。

例えば、2曲目に移動するときは、表示窓に「→Tr002」と表示されます。

3 ジョグレバーを押して決定する。

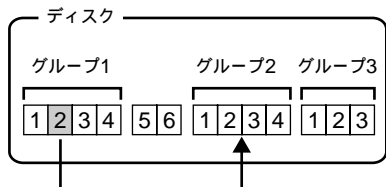
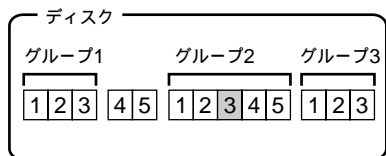
途中で止めるときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

グループ設定されたディスクの曲を移動する

グループ設定されていない曲や、グループ内の曲を、別のグループやグループの外に移動することができます。

1 移動したい曲の再生中に、メニュー操作で「EDIT」－「Move」－「Track Move」を選ぶ。

2 グループの外に曲を移動する場合は、手順3へ進む。

別のグループ内に曲を移動する場合は、ジョグレバーをずらして移動先のグループを表示させ、押して決定する。

3 ジョグレバーをずらしてグループ内の移動先の曲番(グループ内に移動する場合はグループ内の曲番)を表示させ、押して決定する。

途中で設定を止めるときは

■を2秒以上押す。

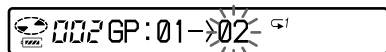
1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

グループの順番を並べかえる（グループムーブ）

1 **移動したいグループ内の曲を再生中に、メニュー操作で「EDIT」－「Move」－「Group Move」を選ぶ。**

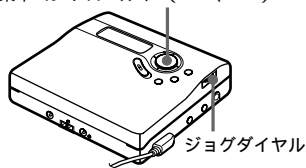
2 **ジョグレバーをずらして移動したい場所に移し、押して決定する。**

例）1番目のグループ（GP01）を2番目のグループ（GP02）に移動する場合

途中で設定を止めるときは

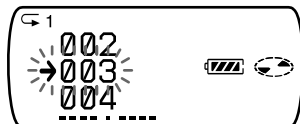
■を2秒以上押す。

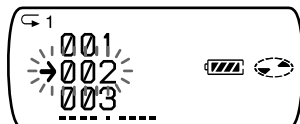
1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

本体で操作する

曲を移動する

1 **移動したい曲の再生中に、メニュー操作で「EDIT」－「Move」－「♫：Move」を選ぶ。**

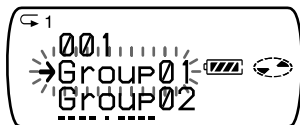
表示窓の中段に曲番が点滅します。曲名が入力されているときは、⏭を押すと、曲名を表示させることができます。⏮を押すと曲番に戻ります。

2 **ジョグダイヤルを回して、移動先の曲番を表示させる。**

例ではC曲を2曲目に移動したいので、ジョグダイヤルを上方向に回して、表示窓の中段に「002」が点滅するようにします。

3 **ジョグダイヤルを押して決定する。**

指定した位置に移動したい曲が移ります。

グループ設定されたディスクの曲を移動する

1 **移動したい曲の再生中に、メニュー操作で「EDIT」－「Move」－「♫：Move」を選ぶ。**

2 **グループの外に曲を移動する場合は、手順3へ進む。**
別のグループ内に曲を移動する場合は、ジョグダイヤルを回して移動先のグループを表示させ、押して決定する。
グループ名が入力されているときは、▶▶Iを押すと、グループ名を表示させることができます。I◀◀ を押すと、グループ番号に戻ります。

3 **ジョグダイヤルを回して、グループ内の移動先の曲番（グループ内に移動する場合はグループ内の曲番）を表示させ、押して決定する。**
表示窓の中段に曲番が点滅します。
曲名が入力されているときは、▶▶Iを押すと、曲名を表示させることができます。I◀◀ を押すと曲番に戻ります。

グループの順番を並べかえる（グループムーブ）

1 **移動したいグループ内の曲を再生中に、メニュー操作で「EDIT」－「Move」—「▭：Move」を選ぶ。**
表示窓の中段に再生中の曲が入っているグループの番号が点滅します。
グループ名が入力されているときは、▶▶Iを押すとグループ名を表示させることができます。I◀◀ を押すと、グループ番号に戻ります。

例） **1番目のグループ**(Group01)**を2番目のグループ**(Group02)**と3番目のグループ**(Group03)**の間に移動する場合**

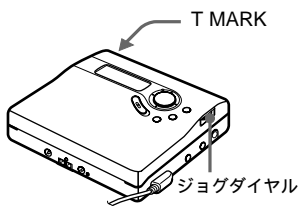
2 **ジョグダイヤルを回して移動したい場所に移し、押して決定する。**

編集する

曲を分ける(ディバイド)

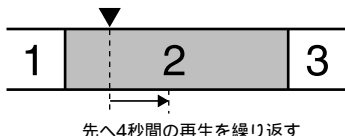
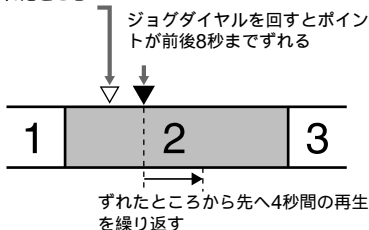
曲の途中にトラックマークをつけて、そこから後ろを次の曲にすることができます。曲を分ける前に分ける位置を微調整することもできます。曲を分けると曲番は下のようになります。
本体でのみ操作できます。

ご注意

パソコンから転送された曲はトラックマークをつけることができません。

直接曲を分ける(ディバイド)

再生中または再生一時停止中に、マークをつけたい位置でT MARKを押す。
「MARK ON」が表示され、曲番が1つ増えます。そこから次の曲として記録されます。

分ける位置を調整してから曲を分ける(ディバイドリハーサル)

1 再生中にT MARKを2秒以上押す。
T MARKが押されたところから、先へ4秒間の再生を繰り返します。

2 ジョグダイヤルを回して曲を分けるポイントを調整する。
ジョグダイヤルを回すとポイントが前後にずれていきます。手順1でT MARKを押した位置から、最大8秒前後に動かすことができます。

3 ジョグダイヤルを押して決定する。

録音中に曲を分けるには

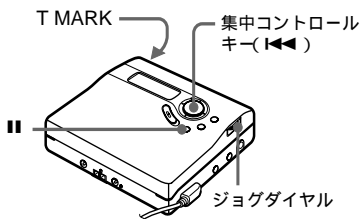
録音(シンクロ録音を除く)中に、マークをつけたい位置でT MARK(リモコンではP MODE/⊂)を押してください。
また、オートタイムマークを使って、一定時間おきに自動的に曲を分けることもできます(デジタル録音中を除く)(32ページ)。

曲を1つにする
（コンバイン）

アナログ入力（LINE IN）やマイク入力で録音したときは、静かな音が続く部分などに不要なトラックマークがついて、曲が分割されてしまうことがあります。その場合は、トラックマークを消すと、前後の曲を1つの曲にまとめることができます。曲番は次のようになります。
本体でのみ操作できます。

ご注意

- パソコンから転送された曲はトラックマークを消すことができません。
- グループ設定されたディスク内の曲やグループを1つにするときは47ページをご覧ください。
- 異なる録音モードで録音された曲は、つなげません。

曲番が1つ減る

1 **曲番を消したい曲を再生し、IIを押して再生一時停止にする。**

2 **集中コントロールキーのI◀◀を押して曲の先頭（00:00）にする。**
例えば、2曲目と3曲目をつなぎたいときは、3曲目の先頭にします。
「MARK」が表示されます。

3 **T MARKを押す。**
「MARK OFF」が表示され、指定した曲が前の曲につながります。

録音日時や曲名は、つないだ2曲の1曲目のものになります。

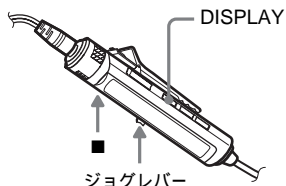
ご注意

別のグループに属する連続した2つの間をつなぐと、前の曲が属するグループに登録されます。また、連続した、グループ登録された曲とされていない曲をつなぐと、後ろの曲は前の曲の設定と同じになります。

曲を消す(イレース)

不要になった曲やディスクの曲を丸ごと削除することができます。

ご注意

- パソコンから転送された曲は消すことができません。ディスクごと消す場合やグループごと消す場合も、パソコンから転送された曲が、1曲でも含まれていると消すことができません。(「Tr PROTECT」と表示されます。)パソコンに戻して消してください。
- 一度消した曲やグループは元に戻すことができません。消す前に、曲の内容をよく確認してください。

1曲を消す

1 消したい曲の再生中に、メニュー操作で「EDIT」−「Erase」−「Track Erase」を選ぶ。
「Erase OK?」、「PushENTER」が表示されます。

2 ジョグレバーを押して決定する。
曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

曲の一部分を消すには

無音部分など不要な部分だけを消したいときは、不要な部分の始まりと終わりにトラックマークをつけて(56ページ)、その部分を消してください。

全曲を消す

ディスクの中の全ての曲を消します。

1 消したいディスクを再生し、ディスクの内容を確認する。

2 ■を押す。

3 メニュー操作で「EDIT」−「Erase」−「Disc Erase」を選ぶ。
「AllErase?」、「PushENTER」が表示されます。

4 ジョグレバーを押して決定する。
「TOC Edit」表示が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わると「BLANK DISC」が点滅し、「00 : 00」と表示されます。

グループを消す

グループ名とグループ内の全ての曲を消去します。

1 削除したいグループを選び(「グループの頭出し(グループスキップ)をするには」(39ページ))、内容を確認する。

2 ■を押す。

3 メニュー操作で「EDIT」−「Erase」−「Group Erase」を選ぶ。
「Gp Erase?」、「PushENTER」が表示されます。

4 ジョグレバーを押して決定する。
グループが削除されます。

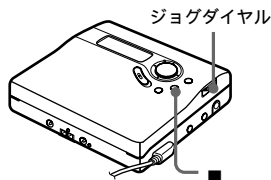
途中で止めるときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

本体で操作する

一度消した曲やグループは元に戻すことができません。消す前に、内容をよく確認してください。

1曲を消す

1 消したい曲の再生中に、メニュー操作で「EDIT」－「Erase」－「♫：Erase」を選ぶ。
表示窓に曲名（または曲番）と「Erase OK?」、「PushENTER」が表示されます。

2 ジョグダイヤルを押して決定する。
曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつくり上がります。

全曲を消す

1 消したいディスクを再生し、ディスクの内容を確認する。

2 ■を押す。

3 停止中に、メニュー操作で「EDIT」－「Erase」－「(ディスク)：Erase」を選ぶ。
表示窓にディスク名と「AllErase?」、「PushENTER」が表示されます。

4 ジョグダイヤルを押して決定する。
「TOC Edit」表示が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わると「BLANK DISC」が点滅し、「00 : 00」と表示されます。

グループを消す

1 削除したいグループを選び（「グループの頭出し（グループスキップ）をするには」（39ページ））、内容を確認する。

2 ■を押す。

3 メニュー操作で「EDIT」－「Erase」－「(グループ)：Erase」を選ぶ。
表示窓にグループ名と「GP Erase?」が点灯し、「PushENTER」が点滅します。

4 ジョグダイヤルを押して決定する。

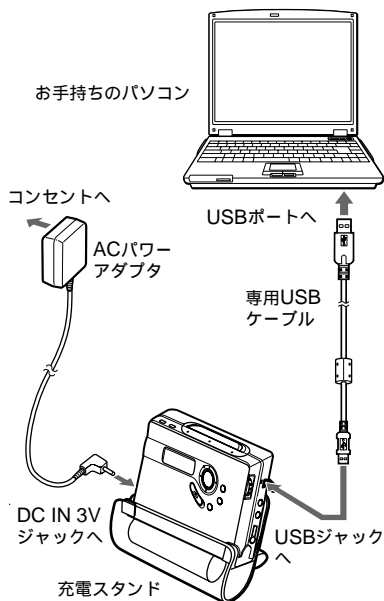
パソコンとつないでできること

付属のソフトウェアを使う

- **本機とパソコンの間で音楽データを転送する**
  付属のSonicStageソフトウェアを使って、本機とパソコンの間で音楽データをやり取りすることができます。
- **CDから直接MDへ曲を録音する**
  付属のMD Simple Burnerソフトウェアを使って、パソコンのCDドライブに入っているCDを直接、本機のディスクへ録音することができます。

詳しい説明については、別冊の「インストール・操作ガイド SonicStage Ver.2.0/MDウォークマン用 MD Simple Burner Ver.2.0」またはヘルプを参照してください。

パソコンに接続する

ソフトウェアのインストールが終わったら、本機とパソコンをつなぎます。ソフトウェアのインストールについては、別冊の「インストール・操作ガイド SonicStage Ver.2.0/MD ウォークマン用 MD Simple Burner Ver.2.0」をご覧ください。

1 **本体に録音用ディスクを入れる。**

2 本体やパソコン、ACアダプターを以下のようにつなぐ。

① 充電された充電式電池を入れる。
② ACパワーアダプターを充電式スタンドにつなぐ。
③ 本体とパソコンを付属の専用USBケーブルでつなぐ。
④ 本体を停止状態にし、ホールドを解除して、充電スタンドにのせる。

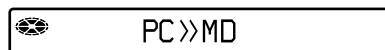
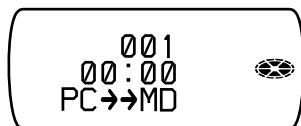
3 正しく接続されたことを確認する。

正しく接続されると、リモコンの表示窓に「PC>>MD」と、本体の表示窓に「PC➔➔MD」と表示されます。

リモコンの表示窓

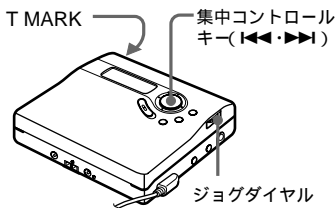
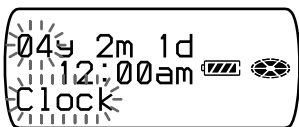
PC>>MD

本体の表示窓

001
00:00
PC➔➔MD

ご注意

パソコンに接続して使うときは、本機をACパワーアダプターにつないで、家庭用電源でお使いになることをおすすめします。電池で使う場合には、電池の残量が充分にあること（充電式電池が充分に充電されていること）を確認してください。電池の残量不足による不具合や、音楽データの転送の失敗、音楽データの破壊などについては保証いたしませんのでご注意ください。

時計を合わせる

時計を合わせておくと、録音の際に録音日時が自動で記録されます。録音日時は、一度時計を合わせると常に記録されるようになります。パソコンから転送された曲には録音日時は記録されません。
本体でのみ操作できます。

1 **停止中に、メニュー操作で「OPTION」－「CLOCK SET」を選ぶ。**
西暦年の数字が点滅します。

2 **ジョグダイヤルを回して年を合わせ、押して決定する。**
月の数字が点滅します。

3 **手順2を繰り返して月、日、時、分を合わせる。**
分を合わせてジョグダイヤルを押すと、時計が0秒からスタートします。

途中で間違えたときは

I◀◀を押して前の項目に戻って入れ直します。変更する必要のない数字は▶▶Iを押して先に進めてください。

現在の日時を表示するには

- 本体では
  停止中または録音中にメニュー操作で「DISPLAY」－「Clock」を選ぶ。
- リモコンでは
  停止中または録音中にDISPLAYをくり返し押す。

時計を24時間表示に変えるには

時計合わせ中にT MARKを押す。
もう一度押すと12時間表示に戻ります。

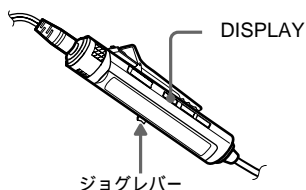
時計の設定を保つために

一度時計を合わせると、ACパワーアダプターや充電式電池、乾電池のいずれかの電源がつないであれば、時計の設定は保たれます。ただし、いずれの電源もつないでいないと、約3分で時計の設定はお買い上げ時の状態に戻ります。
乾電池の交換は3分以内で行ってください。

ご注意

- 特に大切な録音で録音日時を記録したいときは、現在の日時を表示させ、時計が合っていることを確認してください。
- 月に3分程度の誤差が生じることがあります。

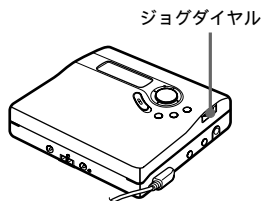
確認音を消す

本体・リモコンの確認音を鳴らす／鳴らさないを設定することができます。

1 **メニュー操作で「**OPTION**」－「**BEEP**」を選ぶ。**

2 **ジョグレバーをずらして「**BEEP OFF**」を選び、押して決定する。**

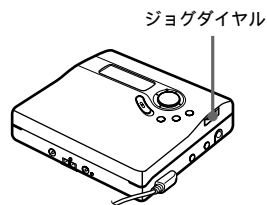
設定を戻すには

手順2で「BEEP ON」を選ぶ。

本体で操作する

1 **メニュー操作で「**OPTION**」－「**BEEP**」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回して「**BEEP OFF**」を選び、押して決定する。**

ジョグダイヤルの動きを変える

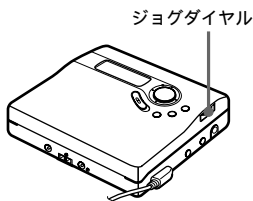
お買い上げ時の設定では、ジョグダイヤルを下方向へ回すと、表示画面は下方向へスクロールしますが、これを逆向きに変えることができます。
本体でのみ操作できます。

1 **メニュー操作で「**OPTION**」－「**JOG DIAL**」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回して「**REVERSE**」を選び、押して決定する。**

設定を戻すには

手順2で「DEFAULT」を選ぶ。

上書きをせずに録音する

録音開始位置を、上書きをせずに常に録音済み部分の後ろから録音する設定に変更することができます。お買い上げ時は上書きで録音する設定になっています。本体でのみ操作できます。

1 **停止中に、メニュー操作で「OPTION」－「REC-Posi」を選ぶ。**

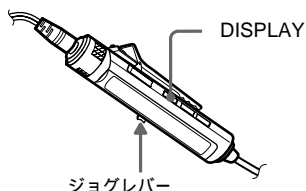
2 **ジョグダイヤルで「From End」を選び、押して決定する。**

設定を戻すには

手順2で「From Here」を選ぶ。

- 録音開始位置が「From Here」に設定されていても、一時的に上書き録音したくないときは、END SEARCHボタンを押してから録音を開始すると、録音済み部分の後ろから録音を始めることができます。またEND SEARCHボタンを押したとき、録音できる残り時間が表示されます。
- 録音するとき、グループ録音（「□:REC」）の設定が常にグループになるように（「□:REC ON」）設定されていると、常に「From End」の設定になります（34、35ページ）。

すばやく音を聞く（クイックモード）

再生ボタンを押したあとや、曲を頭出ししたあと、すばやく再生音を聞くことができます。

1 **停止中または再生中に、メニュー操作で「OPTION」－「PowerMode」を選ぶ。**

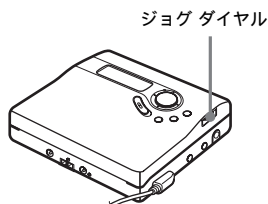
2 **ジョグレバーでずらして「QUICK」を選び、押して決定する。**

設定を戻すには

手順2で「NORMAL」を選ぶ。

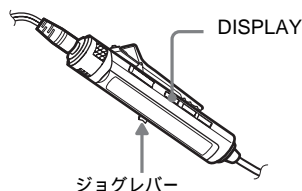
ご注意

- 設定を「QUICK」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなりますので、毎日充電することをおすすめします。
- 何も操作がされない状態（ふたの開閉を含む）で、17時間が経過すると、自動的に本体内部の電源が切れます。次に操作したときの動作は遅くなりますが、その後はまたクイックモードになります。

本体で操作する

1 **停止中または再生中に、メニュー操作で「OPTION」－「PowerMode」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回して「QUICK」を選び、押して決定する。**

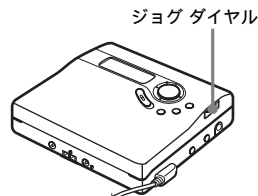
電池の消耗を抑える

電池の消耗を抑え、持続時間を最大限に長くする機能です。操作した後まもなく、本体やリモコンの表示を消灯させます。

1 **メニュー操作で「OPTION」－「PowerMode」を選ぶ。**

2 **ジョグレバーをずらして「PowerSave」を選び、押して決定する。**

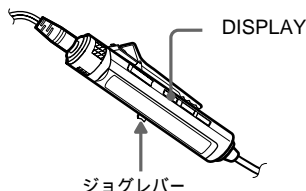
設定を戻すには

手順2で「NORMAL」を選ぶ。

本体で操作する

1 **メニュー操作で「OPTION」－「PowerMode」を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを回して「PowerSave」を選び、押して決定する。**

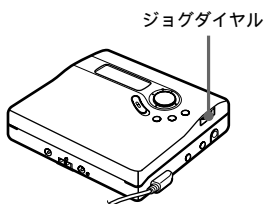
音もれを抑え耳にやさしい音にする（AVLS－オートボリュームリミッターシステム－快適音量）

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。

1 メニュー操作で「OPTION」－「AVLS」を選ぶ。

2 ジョグレバーをずらして「AVLS ON」を選び、押して決定する。
音量を一定のレベル以上に上げようとすると、表示窓に「AVLS」が点滅し、それ以上音量が上がらなくなります。

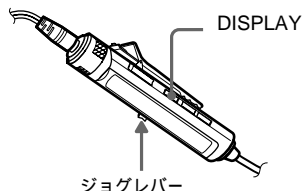
設定を解除するには

手順2で「AVLS OFF」を選ぶ。

本体で操作する

1 停止中または再生中に、メニュー操作で「OPTION」－「AVLS」を選ぶ。

2 ジョグ ダイヤルを回して「AVLS ON」を選び、押して決定する。

表示窓のバックライトをつける／消す

リモコンの表示窓を常に点灯させる／点灯させない設定をすることができます。リモコンでのみ操作できます。

1 停止中に、メニュー操作で「OPTION」－「BACKLIGHT」を選ぶ。

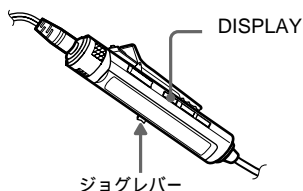
2 お好みの設定を選ぶ。

表示	設定
AUTO	操作中は点灯。何もしないで数秒たつと消灯。
ON	動いているときは常に点灯。
OFF	常に消灯。

パソコンなどで入力した漢字のタイトルを見る

付属のソフトウェアSonicStage/MD Simple Burnerを使って、パソコンで漢字やひらがなの文字入力をすると、本機のリモコンで表示させることができます。
表示のしかたは2種類あります。

- **漢字優先**：お買い上げの設定。通常はこちらにしておきます。
- **漢字カナ交互**：パソコンで文字入力時、全角エリアと半角エリアにそれぞれ違う情報（例：全角エリアに曲名、半角エリアにアーティスト名など）を登録した場合などに選びます。両方の情報が表示されます。

リモコンでのみ操作できます。

「漢字カナ交互」に設定するには

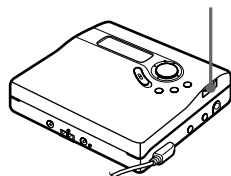
1 **メニュー操作で「OPTION」－「表示方式選択」を選ぶ。**

2 **「漢字カナ交互」を選ぶ。**

ご注意

本機では、パソコンソフトでの文字入力時には全角にしていても、英数時とスペースについては、全て半角で表示されます。

表示窓の濃淡を調節する（コントラスト調整）

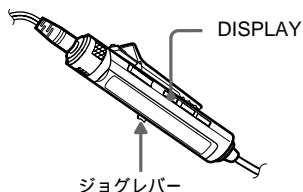
本体の液晶表示のコントラストを調節することができます。
本体でのみ操作できます。

1 **停止中に、メニュー操作で「OPTION」－「CONTRAST」を点滅させ、押して決定する。**

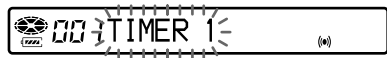
2 **ジョグダイヤルを回して表示窓の濃淡を選び、押して決定する。**

ご注意

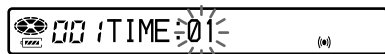
リモコンの表示窓のコントラストは調節できません。

アラームを鳴らす
（メロディタイマー）

電車などで乗り越しを防いだりするのに便利です。3種類のアラームから1つを選んでお使いください。アラームが鳴るまでの時間は1分から99分の間で設定することができます。メロディタイマーは停止中でも働きます。

1 メニュー操作で「USEFUL」－「Melody Timer」－「ON」を選ぶ。

((•))が点灯します。

2 ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしてアラームの種類を選び、押して決定する。

表示	音の種類
TIMER 1	メロディ（アルルの女）
TIMER 2	メロディ（バッヘルベルのカノン）
TIMER 3	メロディ（エリーゼのために）

3 ジョグレバーをI◀◀または▶▶I側にずらしてアラームが鳴るまでの時間を選ぶ。

ジョグレバーをずらすたび、「TIME:01」から「TIME:99」（1分から99分）までが表示され、1分刻みで設定することができます。

4 ジョグレバーを押して決定する。

メロディタイマーが設定されます。停止中は音が鳴るまでの時間が表示されます。

途中で設定を止めたいときは

■を2秒以上押す。

1つ前の設定に戻すときは

■を押す。

アラームが鳴るまでの時間を確認するには

再生を停止する。
しばらくすると音が鳴るまでの時間が表示されます。
再生中や再生一時停止中の場合は、手順3までをもう一度行うと表示されます。

予約を解除するには

手順1で「OFF」を選ぶ。

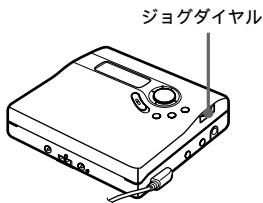
アラームを止めるには

いずれかのボタンを押す。

- 手順1で操作を終了すると前回と同じ設定でタイマーが設定されます。
- アラームは1分間鳴り、その後は設定が解除されます。停止中に音が鳴り終わると、約10秒で電源が切れます。再生中に音が鳴り終わると、そのまま再生が続きます。

ご注意

- 録音を開始すると、設定は解除されます。
- 手順1で「ON」を選んだ時点で、タイマーはカウントを始めます。また、手順3で音が鳴るまでの時間を変更した時点で、カウントをやり直します。

本体で操作する

1 メニュー操作で「USEFUL」－「M-TIMER」－「ON」を選ぶ。
(•)が点灯します。

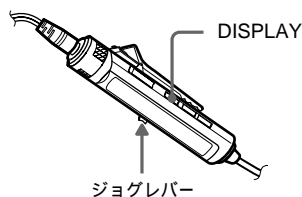
2 ジョグダイヤルを回して、アラームの種類を選び、押して決定する。
アラームの種類については68ページの手順2をご覧ください。

3 ジョグダイヤルを回して、アラームが鳴るまでの時間を選ぶ。
ジョグダイヤルを回すたび、「TIME:01」から「TIME:99」（1分から99分）までが表示され、1分刻みで設定することができます。

4 ジョグダイヤルを押して決定する。
停止中は音が鳴るまでの時間が表示されます。

ディスクごとに設定を記憶する（パーソナルディスクメモリー）

ディスクの設定情報を本体に登録します。一度登録したディスクを再度入れなおすと、設定情報は自動的に呼び出されます。次の設定情報が登録できます。

- 音量
- 再生モード
- グループモード
- プログラム再生
- 音質（バーチャルサラウンド／6バンドイコライザ）
- 再生速度（デジタルピッチコントロール）
- ブックマーク

1 停止中、再生中、再生一時停止中に、メニュー操作で「USEFUL」－「PERSONAL」を選ぶ。
「Entry?」が点滅します。

2 ジョグレバーを押して決定する。
「Entry OK」と表示され、現在のディスクの設定情報が登録されます。

登録を消すには

1 登録から削除したいディスクを入れ、内容を確認する。

2 上記手順1の後、「Erase？」を選ぶ。
「Erase OK」と表示されディスクの設定情報は登録から削除されます。

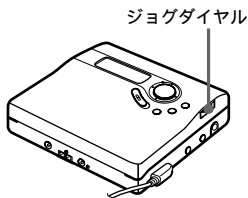
ご注意

登録していないディスクでこの操作を行うと、「No Entry!」が表示されます。

パーソナルディスクメモリーに登録したディスクを再度入れると、「PERSONAL」が表示されます。

ご注意

- ディスク20枚分まで登録することができますが、20枚を越えると再生した時期が古いものから、自動的に消去されます。
- 一度登録したディスクを編集（名前の編集は除く）したり、録音したりすると、別のディスクと認識され、登録されている情報は無効になります。その場合は、もう一度登録し直してください。

本体で操作する

1 停止中、再生中、再生一時停止中に、メニュー操作で「USEFUL」－「PERSONAL」を選ぶ。
「Entry?」が点滅します。

2 ジョグダイヤルを押して決定する。

使用上のご注意

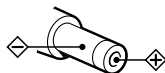
分解しないでください

ミニディスクレコーダーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。
また、ほこりがつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

ACパワーアダプターについて

- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・JEITA規格）をご使用ください。上記以外の製品を使用すると、故障の原因になることがあります。

極性統一形プラグ

- ACパワーアダプターは容易に手が届くような電源コンセントに接続し、異常が生じた場合は速やかにコンセントから抜いてください。
- ACパワーアダプターをご使用時は、以下の点にご注意ください。
  — 本機を棚や組み込み式キャビネットなどの狭い場所に置かないでください。
  — 火災や感電の危険をさけるために、水のかかる場所や湿気のある場所では使用しないでください。また、本機の上に花瓶など、水の入ったものを置かないでください。

日本国内での充電式電池の廃棄について

ニッケル水素電池はリサイクルできます。不要になったニッケル水素電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先
社団法人電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp/ を参照してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- リモコンやヘッドホンのコードを強く引っぱらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
  — 温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  — 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  — 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
  — 風呂場など湿気の多いところ。
  — 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
  — ほこりの多いところ。
- 温度が高いところ（40℃以上）や低いところ（0℃以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりかたがゆっくりになることがあります。常温に戻れば元に戻ります。
- キャリングポーチには本体と一緒に硬いものを入れないでください。塗装のはげや傷の原因になります。
- 読み込み中や書き込み中にディスクを抜いたり、電源をはずしたりしないでください。正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。
- 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合、正常に録音されなかったり、録音した音楽データが失われることがあります。

温度上昇について

充電中および長時間お使いになったときに、本体の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

充電について

- 付属の充電スタンドは本機専用です。他機の充電はできません。
- 付属の充電スタンドでは、指定の電池以外は充電しないでください。
- 充電は、+5℃〜+40℃の場所で行ってください。
- 充電中は、充電スタンドや本体が熱くなりますが、危険はありません。
- 充分に充電しても使える時間が通常の半分くらいになったときは、新しい充電式電池と交換してください。
- 長い間お使いにならないときはACパワーアダプターをコンセントから抜き、本体を充電スタンドからはずしてください。

ディスクの取り扱いについて

- ディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。
  — 内部のディスクに直接触れない
  シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。

シャッター カートリッジ

  — 持ち運ぶときや保管するときはケースに入れる
  — 置き場所について
  直射日光があたるところなど温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。
  — 定期的にお手入れを
  カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。
- ディスクに付属のラベルは所定以外の位置に貼らないでください。必ず、ラベル用のくぼみに合わせてしっかり貼ってください。

ヘッドホンについて

- 付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わないと感じたときは早めに使用を中止して医師またはお客様ご相談センターに相談してください。
- 付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外にもれます。音量を上げすぎてまわりの人に迷惑にならないように気をつけましょう。
  雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

リモコンについて

付属のリモコンは本機専用です。また、他機種に付属のリモコンで、本機の操作はできません。

乾電池ケースについて

付属の乾電池ケースは本機専用です。

お手入れについて

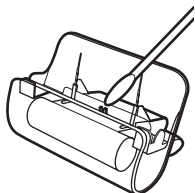
表面が汚れたときは

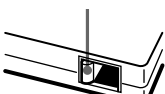
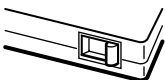
水気を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

ヘッドホンおよびリモコンのプラグのお手入れ

プラグが汚れていると雑音や音切れの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、プラグをときどき柔らかい布でからぶきし、清潔に保ってください。

端子のお手入れについて

定期的に各端子を綿棒ややわらかい布などできれいにしてください。

誤消去防止つまみについて

録音したものを誤って消さないために、誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。つまみをずらして穴があいた状態にすると、録音・編集ができません。録音・編集するときはつまみを閉めます。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。（ディスクが本体に入っているときに故障した場合は、故障原因の早期解決のため、ディスクを入れたままご相談されることをおすすめします。）

主な仕様

形式

ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式

磁界変調光学方式

再生読み取り方式

非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

レーザー

GaAIAsMQWダイオード、λ=790nm

録音再生時間（MDW-80使用時）

モノラル最大 160分
ステレオ最大 320分

回転数

約350 rpm〜3600 rpm(CLV)

エラー訂正方式

ACIRC（アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード）

サンプリング周波数

44.1kHz

サンプリングレートコンバーター

入力：32 kHz/44.1 kHz/48 kHz

コーディング

ATRAC（アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング）
ATRAC3 — LP2/LP4

変調方式

EFM

周波数特性（光デジタル・アナログ入力時）[1)]

20〜20,000 Hz ±3 dB

入力端子[2)]

MIC：ステレオミニジャック（最小入力レベル 0.25 mV）
LINE IN：アナログ時　ステレオミニジャック（最小入力レベル 49 mV）
光デジタル時　光ミニジャック

出力端子

🎧/LINK OUT[3]：ステレオミニジャック（専用リモコンジャック）/
規定出力　123 mV (10 kΩ)

実用最大出力（DC時）[4]

ヘッドホン：5 mW + 5 mW（16 Ω）

電源

充電式ニッケル水素電池
NH-14WM(A) 1.2 V, 1350 mAh (MIN) Ni-MH　1個
アルカリ乾電池（単3形）　1個
ACパワーアダプター DC 3V, AC 100V, 50/60 Hz

電池持続時間[4]

「電池の持続時間」（20ページ）参照

本体寸法

約78.9 × 72.2 × 15.9 mm
（幅/高さ/奥行き、突起部含まず）

最大外形寸法[4]

約80.6 × 74.2 × 21.0 mm
（幅/高さ/奥行き）

質量

約94g（本体のみ）
約121g（充電式電池含む）

1) ヘッドホン出力時
2) 入力（光デジタル）と入力（アナログ）は兼用ジャック
3) ヘッドホンとLINK OUTは兼用ジャック
4) JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリー

光デジタルケーブル
光角形プラグ←→光ミニプラグ
POC-5/10/15AB
光ミニプラグ←→光ミニプラグ
POC-5/10/15B
光ミニプラグ（入／出力）←→L型7ピンコネクターPOC-DA12SP
接続コード(アナログ)
ステレオミニプラグ←→ピンプラグ (×2) RK-G129
ステレオミニプラグ←→ステレオミニプラグ RK-G136
カーコネクティングパックCPA-8[1]
カーバッテリーコードDCC-E230[1]
ステレオマイクロホンECM-719、ECM-MS907、ECM-MS957
ステレオヘッドホン[2]MDR-EX70SL、MDR-E888SP
アクティブスピーカーSRS-Z510/Z30など
ミニディスク(生ディスク)ESシリーズ
MDソフトキャリングポーチMD-4SCPL/N

ロータリーコマンダーRM-WMC1、MDラベルプリンターMZP-1、ICメモリー・リピートラーニング・MDコントローラーRPT-M1は使用できません。

1) 本体に直接つないでください。
2) ヘッドホンは、ステレオミニプラグのものをお求めください。マイクロプラグのものは使えません。

故障かな？と思ったら

本機をご使用中にトラブルが発生した場合は、サービス窓口にご相談になる前に、もう一度下記の流れにしたがってチェックしてみてください。（メッセージ一覧（83ページ）も合わせてご覧ください。）メッセージなどが表示されている場合は、書きとめておくことをおすすめします。

手順1　本書で調べる

この「故障かな？と思ったら」をチェックし、該当する項目を調べる。
また、本書の手順の中や「メッセージ一覧」にも、様々な情報があります。該当する項目を調べてください。

手順2　「パーソナルオーディオ・カスタマーサポート」のホームページで調べる

http://www.sony.co.jp/support-pa/ で調べる。
最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答を掲載しています。

手順3　それでもトラブルが解決しないときは

お客様ご相談センター（裏表紙）またはお買い上げ店にご相談ください。

充電について

症状	原因	対策
充電ができない、または充分に充電ができない。	充電式電池や乾電池が正しく入れられていない。またはACパワーアダプターが正しくつながっていない。	充電式電池や乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れ直す。またはACパワーアダプターを正しくつなぐ。
	充電スタンドの充電用端子が汚れている。	充電用端子を乾いた布などで拭いてください。
	お買い上げ時や長い間使わなかった場合は、電池の特性により持続時間が短いことがある。	何回か充放電を繰り返すと、充分に充電されるようになります。
	充電式電池が消耗しきっている（充電スタンドにおいても充電ランプが点灯しない）。	充電してください。1分程すると充電が始まります。それでも充電が始まらないときは、一度本体を充電スタンドからはずし充電式電池を入れ直してから、もう一度本体を充電スタンドに置き直してください。
	充電している場所の温度が低すぎる、または高すぎる（「CannotCHG」が表示される）。	充電は+5℃～+40℃の場所で行ってください。
使っていなかったのに充電式電池が消耗してしまった。	クイックモードの設定が「QUICK」になっていた（64ページ）。	クイックモード設定を「QUICK」にすると、画面に何も表示されていないときでも、本体内部では常に電源が入っている状態になっています。そのため、電池の持続時間が短くなります。充電が充分ではない状態でかつ、設定が「QUICK」になっていると、使わない間に充電式電池が消耗しまうことがあります。そのときは、もう一度充電してください。
充分に充電しても使える時間が通常の半分程しかできない。	電池の寿命かもしれません。	新しい充電式電池と交換してください。
充電中に本体や充電スタンドが熱くなる。	故障ではありません。	—

録音中

症状	原因	対策
上書き録音した。	録音開始位置の設定（「REC Posi」）が「From Here」になっている。	録音開始位置の設定（「REC Posi」）を「From End」にしてください（64ページ）。

症状	原因	対策
「REC-Posi」の設定が「From Here」になっているのに、ディスクの最後から録音を始めてしまう。	グループ録音（「📁:REC」）の設定が、常にグループになるように（「📁:REC ON」）設定されている。	メニューの「📁:REC」の設定を「📁:REC OFF」にしてください（35ページ）。
「REC-Posi」の設定を「From Here」に設定できない。	グループ録音（「📁:REC」）の設定が、「📁:REC ON」に設定されている。	メニューの「📁:REC」の設定を「📁:REC OFF」にしてから、「REC-Posi」の設定を「From Here」にしてください。
録音できない。	音源と正しくつながれていない。	つなぎなおしてください（21、36ページ）。
	ポータブルCDプレーヤーからデジタル出力が出ていない。	ポータブルCDプレーヤーを家庭用電源につなぎ、音飛びガード機能（ESPなど）を「切」にしてください。
	抵抗入りの接続コードを使っている（アナログ入力録音時）。	抵抗が入っていない接続コードを使ってください。
	録音レベルが小さすぎる（手動調節時）。	録音レベルを調節してください（31ページ）。
	録音中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの録音の内容は消えています。初めから録音しなおしてください。
	再生専用ディスクが入っている。	録音用ディスクと取りかえてください。
	ディスクの残り時間が12秒以下である（「DISC FULL」が表示される。	他の録音用ディスクと取りかえてください。
途中で録音が止まってしまう。	パソコンから転送された曲が入っているディスクに上書き録音しようとした。（パソコンから転送された曲は上書き録音できません。録音は自動的に終了します。）	転送された曲をパソコンに戻してから録音してください。 上書き録音をせずに、ディスクの最後から録音を始めてください。
モノラルで録音中、ヘッドホンからステレオで聞こえる。	デジタル録音中、ヘッドホンからはステレオで聞こえます。（録音された音はモノラルになります。）	—
録音時、瞬間的なノイズが発生する。	LP4ステレオ録音では、圧縮方式の特性上、録音元の音源によっては、ごくまれに瞬間的なノイズが発生する。	ステレオ録音またはLP2ステレオ録音をしてください。
録音終了後、ふたが開かない。	録音終了後は「TOC Edit」の表示が消えるまで、ふたは開きません。	—

症状	原因	対策
最大録音可能時間(60分、74分、80分)に達していなくても、「TR FULL」表示が出て録音が開始できない。	システム上の制約です。254曲録音されるとそれ以上の録音はできません（93ページ）。	さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。	システム上の制約です。短い曲の場合、何曲か消しても録音できる残り時間が増えないことがあります（93ページ）。	—
ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しない。	システム上の制約です。録音は、何秒かの単位でされるため、短い曲をたくさん録音すると、いわゆる「無駄な」録音部分が増えて、合計時間とあわなくなります（93ページ）。	—
曲数も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て録音が止まる。	システム上の制約です。同じディスクで録音、消去をくりかえしたためと思われます（92ページ）。	さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

再生中

症状	原因	対策
通常の再生ができない。	リピート再生を指定している。	本体ではジョグダイヤルを使って、リモコンではP MODE/⮎ボタンを2秒以上押して、⮎（リピート）表示を消してから再生を始めてください（38、40ページ）。
	再生モードを変えた。	本体ではジョグダイヤルを使って、リモコンではP MODE/⮎ボタンを押して、通常の再生に戻してから再生を始めてください（38、40ページ）。
ディスクの1曲目から再生しない。	前回再生したときディスクの途中で止めた。	一度停止させ、本体では►を、リモコンではジョグレバーを、2秒以上押したままにしてください。
	パーソナルディスクメモリーに登録した。	パーソナルディスクメモリーから削除してください（70ページ）。
再生中に音がとぎれる。	振動の多い場所に置いている。	振動の少ない場所で使ってください。
	1曲の録音時間が極端に短い。	短いトラック（曲）を作らないでください（92ページ）。
雑音が多い。	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置いてください。

症状	原因	対策
録音した曲を再生すると、音が小さい。	アナログで録音した。（デジタル録音の場合は、自動的に録音元と同じレベルで録音されます。）または、抵抗の入っている接続コード（別売り、RK-G128/RK-G134など）を使って録音した。	正しい接続コード（別売り、RK-G129/RK-G136など）を使う。
	録音レベルが小さかった。	録音レベルを手動で調節して録音する（31ページ）。
音が大きくならない。	AVLSが働いている	AVLSの設定を解除してください（66ページ）。
ヘッドホンから音が出ない。	音量が小さくなっている。	音量を調節してください（24ページ）。
	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	🎧/LINK OUTジャックにしっかり差し込んでください。 リモコン本体にヘッドホンプラグをしっかり差し込んでください。
	プラグが汚れている。	ヘッドホンとリモコンのプラグ部分を乾いた布などで拭いてください。
音量が調節できない、雑音が入る、またはバーチャルサラウンド、6バンドイコライザが働かない。	🎧/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINK OUT」になっている。	🎧/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にしてください。または、リモコン付きヘッドホンをつないでください。
アナログ接続をして、スピーカーやアンプなどから音を聞くと、音が小さい。	🎧/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「HeadPhone」になっている。	🎧/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「LINK OUT」にしてください（45ページ）。
ヘッドホンをつないでいると、音が大きい。	🎧/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINK OUT」になっている。	🎧/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にしてください。または、リモコン付きヘッドホンをつないでください。
本体で早送りまたは早戻しをすると何曲か先または前の曲に飛んでしまう。	グループスキップ機能が働いている。	何も操作せずに5秒以上待つと、自動的にグループスキップが解除されます。
編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる。	システム上の制約です。再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、音がとぎれることがあります（92ページ）。	—
ラジカセやアンプなどを使って録音したものを再生をする、またはラジカセやアンプなどをつないで再生をすると、片方の音が出ない。	ラジカセやアンプなどにモノラルのコードを使って接続すると、片方（R CH）の音が出ません。	必ずステレオのコードを使ってください。接続先の機器がモノラル使用の場合は、ステレオのコードを使っても片方（R CH）の音は出ません。

編集中

症状	原因	対策
ふたが開かない。	編集中に電源をはずしたり電池が消耗している。	電源を入れ直し充電するか、新しい乾電池と交換してください。
本機で編集できない。	編集中に電源が抜かれた、または停電になった。	それまでの編集内容は消えています。やり直してください。
パソコンから転送した曲を消せない。	システム上の制約です。パソコンから転送した曲は、パソコンに戻して、SonicStageを使って消去してください。	—
曲番が消せない。	システム上の制約です。つなごうとする曲のデータが短い場合、その曲のトラックマーク（曲番）を消して前の曲とつなぐことはできない場合があります。また、異なる録音モードで録音された曲の間のトラックマークは消すことができません（93ページ）。	—
他機種で編集ができない。	ステレオ長時間録音モードに対応していない機器で編集しようとした。	本機、または他のステレオ長時間録音モードに対応している機器で編集してください。

グループ機能中

症状	原因	対策
グループ機能が働かない。	グループ設定されていないディスクが入っている。	グループ設定されているディスクを入れてください。
新しいグループが録音されない／新しいグループを設定できない。	システム上の制約です。入力した文字数の合計が約1700文字を超えた場合、グループで録音しても新しいグループは作成されません。また、グループ設定しようとしてもできません（94ページ）。	—

その他一般

症状	原因	対策
操作を受けつけない、または正しく動作しない。	充電式電池を充電していない。	充電してください。
	音量が小さくなっている。	音量を上げる。
	ディスクが入っていない。	録音済みのディスクを入れてください。

症状	原因	対策
操作を受けつけない、または正しく動作しない。	ホールド機能が働いている（本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が出る）。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除してください（14、19ページ）。
	ふたがしっかりと閉まっていない。	カチッと音がするまでふたを閉めてください。
	結露（内部に水滴が付着）している。	ディスクを取り出して、そのまま数時間おいてください。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN 3Vジャックとコンセントにしっかり差し込んでください。
	電池が消耗している（「LOW BATT」表示が点滅または何も表示されない）。	充電するか、乾電池を新しいものと交換する（18、19ページ）。またはACパワーアダプターをつないでください。
	乾電池が正しく入れられていない。	乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れなおしてください（19ページ）。
	損傷しているディスク、または録音や編集の内容などの情報が正しく入力されていないディスクが入っている。	ディスクを入れなおしたり、録音しなおしてください。それでもエラー表示が出るときは、他のディスクと取りかえてください。
	内部システムが誤動作している。	パソコンを再起動してから装着してください。
	使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けている。	次の手順で操作しなおしてください 1 全ての電源をはずす。 2 約30秒間そのままにする。 3 電源をつなぐ。
時計が正確に動かない／時計表示が出ない（--y--m--dになる）／録音日時が記録されない。	充電式電池が完全に消耗しているうえに、他の電源が何もつながれていない状態が3分以上続いたため、お買い上げ時の設定に戻ってしまった。	ACパワーアダプターをコンセントにつないで充電し、時計を合わせてください（62ページ）。
	時計合わせをしていない。	時計を合わせてください（62ページ）。
	パソコンから転送された曲は、録音日時が記録されません。	—
再生中、リモコンの表示窓が点灯しない。	パワーセーブ機能が働いている。	パワーセーブ機能が働いているとき、リモコンで操作すると表示窓が点灯しますが、本体で操作してもリモコンの表示窓は点灯しません。（ただし、本体のGROUPボタンを押した時のみ点灯します。）
液晶表示が通常表示と違う。	電源を抜いた。	しばらく放置する。または電源を入れていずれかの操作ボタンを押してください。

症状	原因	対策
ACパワーアダプターで使用時、停止後もしばらく表示窓がかすかに光っている。	システム上の制約です。充電スタンドでの充電時間を積算するために、停止後3分たってから電源が切れることになっています。	—
パソコンから転送された曲の演奏時間がパソコン上の演奏時間と一致しない。	本体とパソコンの計算誤差です。	—
ディスクの録音可能時間いっぱいにパソコンから曲を転送できない。（例：80分ディスクに対してLP2ステレオ録音で160分の転送ができない。）	システム上の制約です。録音は、何秒かの単位でされるため、短い曲をたくさん録音すると、いわゆる「無駄な」録音部分が増えて、合計時間とあわなくなります（93ページ）。	—

メッセージ一覧

本体の表示窓にメッセージが出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。

表示	意味	対策
FULL	21曲めのブックマークをつけようとした（39ページ）。	ブックマークをつけられるのは20曲までです。20曲以内でブックマークをつけてください。
AVLS	AVLSの設定が「AVLS ON」になっているので、これ以上音量をあげられない（66ページ）。	AVLSの設定を「AVLS OFF」にしてください。
BLANK DISC	何も録音されていないディスクが入っている。	—
BUSY	録音または編集の内容の処理をしている。	しばらく待つ。まれに1分ほどかかる場合があります。
CannotCHG	指定温度ではないところで充電しようとした。	指定温度の範囲内で充電してください。
Charging	充電中に表示される（18ページ）。	—
DISC FULL	ディスクの残り時間が12秒（24秒または48秒）以下である（録音時）。	他の録音用ディスクと取り換える。
ERROR	内部システムが誤動作している。	81ページの表中の手順1～3を行う。
GroupFULL	100個めのグループを作ろうとした。	グループは99個まで作れます。99個以内でグループを作ってください。
Hi DC in	電源電圧が高い（指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使っていない）。	指定のACパワーアダプターまたはカーバッテリーコードを使う。
Hi-MD Disc	Hi-MDフォーマットされた現行の録音用ディスクが入っている。	本機では再生できません。
HOLD	ホールド機能が働いている。	本体のHOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する（14、19ページ）。
LINK OUT	/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定が「LINK OUT」になっている状態で、VOL +、– を押した。	/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にする（45ページ）。
LOW BATT	電池が消耗した。	充電池を充電し直すか、新しい乾電池と入れ換える（18、19ページ）。
MEM OVER	振動のあるところで録音を始めた。	振動のないところで録音をする。
MENU	本体でメニューの選択中にリモコンキーのどれかを押した。	本体で操作する。
	リモコンでメニューの選択中に本体キーのどれかを押した。	リモコンで操作する。
NAME FULL	曲名やグループ名、ディスク名を200文字を越えて入力しようとした。曲名、グループ名、ディスク名を合計約1700文字を越えて入力しようとした。	ディスク名、グループ名、曲名を短くして入力する（51、52ページ）。

困ったときは

表示	意味	対策
NO COPY	シリアルコピーマネージメントシステム（SCMS）によりダビングは禁止されている。	アナログ入力（LINE IN）を使って録音する（36ページ）。
NO DISC	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
NO EDIT	グループ設定されていないディスクで、メニューの「:Erase」を選んだ（59ページ）。	グループ設定がされていないディスクではグループを消すことはできません。
	録音モードの異なる曲を１つにつなげようとした（57ページ）。 トラックマークの上にトラックマークを上書きしようとした（56ページ）。 録音中に、メニューの「:Set」、「:Release」、「Move」、「Erase」を選んだ。	—
No Entry!	パーソナルディスクメモリーを登録していないディスクでパーソナルディスクを削除しようとした。	—
No MARK	ブックマークがついていないディスクでブックマーク再生（「TrPLAY」）をしようとした。	ブックマークをつけてから（38ページ）操作する。ブックマークがついているディスクで操作する。
NO SET	/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定中にデジタルピッチコントロールの設定をしようとした。	/LINK OUT出力（「AUDIO OUT」）の設定を「HeadPhone」にしてから操作する。
	録音中に次の操作をしようとした。 • パーソナルディスクメモリーの設定をしようとした（69ページ）。 • メロディータイマーの設定しようとした（68、69ページ）。 • デジタルピッチコントロールの設定をしようとした（44、45ページ）。 • 録音モードの設定をしようとした（30ページ）。 • 録音レベルの設定をしようとした（31ページ）。 • メニューの「:REC」を選んだ（34ページ）。 • グループ録音中にメニューの「REC Posi」を選んだ（64ページ）。	—
NoOPERATE	リモコンでプログラム設定中に +、–を押して、グループスキップしようとした（39ページ）。 シンクロ録音中に❚❚ボタンまたはT MARKボタンを押した。 シンクロ録音中にオートタイムマークの設定をしようとした（32ページ）。	—

表示	意味	対策
NO SIGNAL	デジタル入力信号が途切れた。	光デジタル入力の接続を確かめる。アナログ入力（LINE IN）するときは無視する。
P/B ONLY	再生専用ディスクが入っている。	録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED	ディスクが誤消去防止状態になっている（73ページ）。	誤消去防止つまみを戻す。
Push STOP	USBケーブルが接続されている状態で「TOC Edit」が表示されているときに、いずれかのボタンを押した。	—
READ ERR	ディスクの情報を正しく読み取れなかった。	ディスクを入れ直す。
	Hi-MD規格専用ディスクが入っている。	本機では再生できません。
REC ERR	正しく録音できなかった。	振動のない場所に本機を設置し、録音をやり直す。
	ディスクにひどい汚れ（油膜、指のあとなど）や傷がある、またはディスクが規格外である。	ディスクを交換して録音をやり直す。
Rehearsal	ディバイドリハーサル中に、回転つまみ以外のリモコンの操作をした。	—
SEL Group	停止中や再生中、グループに入っていない曲を選んだ状態で、「:Name」、「:Move」「:Erase」を選んだ。	編集したいグループ内の曲を選んだ状態で、もう一度操作する。
SEL Track	再生が終わったとき、またはEND SEARCHボタンを押した後、本機が停止した状態で「:Name」、「:Move」、「:Erase」を選んだ。	編集したい曲を選んだ状態で、もう一度操作する。
SLOW CHG	温度が低いところで充電をしようとした。	+5℃～+40℃の場所で充電してください。
TEMP OVER	本機の温度が高くなりすぎた。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TOC Edit	録音した情報（曲の開始・終了位置など）をディスクに記録している（87ページ）。	しばらく待つ（衝撃を与えたり、電源を抜いたりしない）。
TOC ERR	ディスク情報を正しく読み取れなかった。	他のディスクを入れてみる。ディスクの内容を全て削除してよいときは、記録されている内容を全て削除する（58ページ）。
TR FULL	曲番が254を超えた。	曲番を削除して254以下にする。
TrPROTECT	トラックプロテクト（曲の誤消去防止）がかかっている曲に録音・編集をしようとした。	他の曲で録音・編集する。
	パソコンから転送した曲を録音、編集をしようとした。	パソコンに転送して編集する。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックを
  この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときは
  お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は
  保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は
  修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- 部品の保有期間について
  当社ではポータブルミニディスクレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

こんなこともできます

ここではポータブルMDプレーヤーをお使いになる際に知っておくと便利な情報を、Q&A形式で簡単に説明します。

MD一般

Q1: 「TOC Edit」とは？

A1: TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上の領域です。
どの曲が何曲目でディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。
録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などの際、ミニディスクレコーダーはTOCの書き換え作業を行います（「TOC Edit」が表示されます）。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われないばかりか、ディスクの内容が失われることがあります。

Q2: サンプリングレートとは？

A2: サンプリングレートとは、1秒間の音声をどれだけの量のデジタル信号にするかを表す数値です。
一般に数値が大きいほど高音質になります。サンプリングレートの異なる機器同士では、通常デジタル信号によるダビングはできません。これを可能にするのが、サンプリングレートコンバータです。コンバータは、デジタル信号を他のサンプリングレート用のデジタル信号に変換します。本機はこのコンバータを内蔵しています。光デジタル入力端子に入ってきたサンプリングレートの異なる信号（BSチューナー:32kHz, DAT:48kHzなど）は、コンバータによって、MDのサンプリングレート（44.1kHz）に変換されて録音されます。

Q3: ATRAC/ATRAC3用DSP TYPE-Sとは？

A3: ソニーのハイスペックMDデッキに搭載されているATRAC用DSP TYPE-Sを採用。長時間ステレオ録音が魅力のMDLPモード再生時に高音質で楽しめます。また、このDSPにはATRAC用DSP TYPE-Rの演算能力も継承されていますので、標準録音モードでの録音・再生にも優れています。

Q4: Net MDとは？

A4: パソコン内に入っている音楽データを、USBケーブルを介してMDに録音できる規格です。
従来のMDが録音できる音源の種類は、マイクやアナログ入力からのアナログ音源または、音楽CDなどからのPCM音源のみだったため、パソコンからの録音は不可能でした。
しかし、「OpenMG」[1]と「MagicGate」[2]という著作権保護技術に基づいた音楽管理ソフト（SonicStageなど）を使って「ATRAC」[3]、「ATRAC3」[3]という音楽データの形式に変換することにより、MDへの録音が可能となりました。

1) パソコンに取り込まれたCDなどの音楽データを管理するための著作権技術
2) パソコンとNet MD機器の間で、お互いが著作権保護に対応しているかの認証を行う技術
3) 従来のMDの録音時に変換される形式

Q5: ステレオプラグとモノラルプラグの見分けかたは？

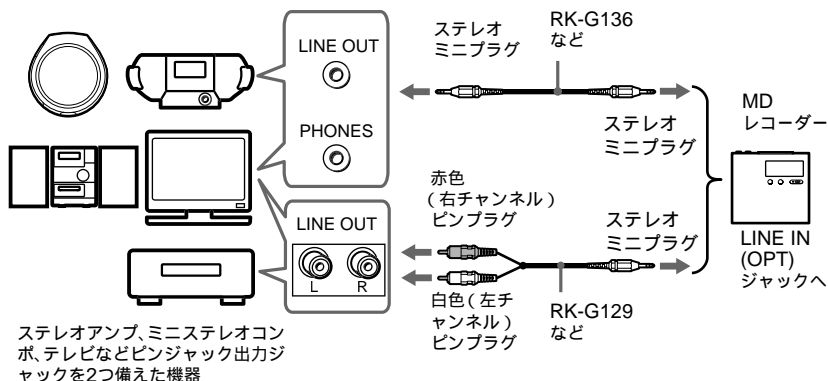
A5:
ステレオプラグ:
絶縁の帯が２つ

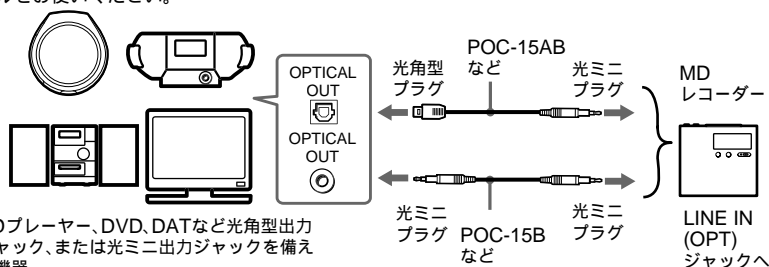
モノラルプラグ:
絶縁の帯が1**つ**

録音

Q1: MDでは何が録音できるの？

A1: アナログ入力とデジタル入力、両方の録音ができます。本機ではアナログ入力、デジタル入力に、LINE IN(OPT)ジャックを使います。

アナログ入力：
- マイクからの録音
- 接続コードをつないで録音（テレビ、ラジオ、カセット、CD、MD、ラジカセ、ステレオコンポ、アンプ、アナログプレーヤーなどからの録音）

デジタル入力：

- 光デジタルケーブルをつないで録音（CD、MD、DAT、DVD、BS、CS放送など）
  録音するときは、録音元の音声出力端子の形状を確認し、適切な接続コード、光デジタルケーブルをお使いください。

CDプレーヤー、DVD、DATなど光角型出力ジャック、または光ミニ出力ジャックを備えた機器

- パソコンからNet MDを使って録音

	録音元	出力端子	形状	使うケーブル[1]
アナログ入力	テレビ、ラジオ、カセット、CD、MD、ラジカセ、ステレオコンポ、アンプなど	LINE OUT AUX OUT REC OUTなど	ピンジャック L R	ピンプラグ↔ステレオミニプラグ（RK-G129など）
			ステレオミニジャック	ステレオミニプラグ↔ステレオミニプラグ’（RK-G136など）
		HEADPHONES Phones 🎧など[2]	ステレオミニジャック[3] (Headphones)	ステレオミニプラグ↔ステレオミニプラグ’（RK-G136など）
	マイク[4]	—	—	マイク：ステレオミニプラグ（ECM-717など）
デジタル入力	CD、MD、DAT、DVD、BS、CS放送など	OPTICAL OUT DIGITAL OUT など[5]	光角型ジャック	光角型プラグ↔光ミニプラグ（POC-15ABなど）
			光ミニジャック	光ミニプラグ↔光ミニプラグ（POC-15Bなど）
	パソコン[6]	USB	USB	専用USBケーブル（ Net MD機器に付属）

[1] 詳しくは、74ページをご覧ください。
[2] 録音レベルを調節してください。詳しくは、31ページをご覧ください。
[3] ヘッドホンジャックの穴径が3.5mmより太いとき（穴径6.3mm）は、プラグアダプターPC-234SまたはPC-234HSをお使いください。
[4] マイクを使っての録音について、詳しくは33ページをご覧ください。
[5] 同軸（COAXIAL)の出力端子からは録音できません。
[6] Net MD対応機器でのみ録音できます。

Q2: デジタル録音とアナログ録音は何が違うの？

A2: デジタル録音（光デジタル入力）とアナログ録音（アナログ入力）では、次のような違いがあります。

相違点 ＼ 入力の種類	光デジタル入力	アナログ入力（LINE IN）
つなぐことができる機器	光デジタル出力ジャックのある機器（CDプレーヤー、DVDプレーヤー、CDラジカセなど）	出力（LINE OUT）ジャックのある機器（カセットデッキ、レコードプレーヤーなど）
使用するコード	光デジタルケーブル（録音もとの機器に角形プラグまたはミニプラグをつなぐ）（21ページ）	接続コード（録音もとの機器にピンプラグまたはステレオミニプラグをつなぐ）（36ページ）
録音もとから送られる信号	デジタル信号	アナログ信号 CDなどデジタル方式のものを録音もととしても、本機にはアナログ信号として送られる。
頭出しマーク（曲番）のつきかた[1]	• 音源がCDやMDの場合、録音もとと同じ場所に自動的につく。 • 音源がCDやMD以外の場合、2秒以上の無音（92ページ）や小さな音が続いた場所につく。 • 録音を一時停止したところで自動的につく（シンクロ録音中は3秒以上の無音が続いた場合）。	• 2秒以上の無音（92ページ）や小さな音が続いた場所につく。 • 録音を一時停止したところで自動的につく。
録音される音の大きさ	録音もとと同じ。 手動でも調節できます（デジタルRECレベルコントロール）（「手動で録音レベルを調節する」31ページ）。	自動調節される。 手動でも調節できます（「手動で録音レベルを調節する」31ページ）。

[1] 不要なマークがついた場合、録音後に消してください（「曲を１つにする（コンバイン）」57ページ）。

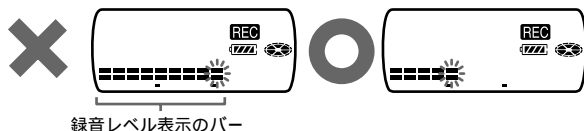
ご注意

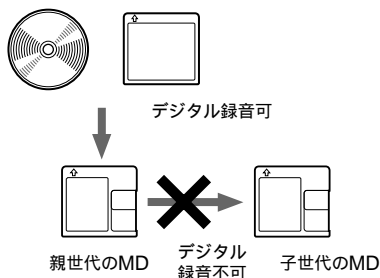
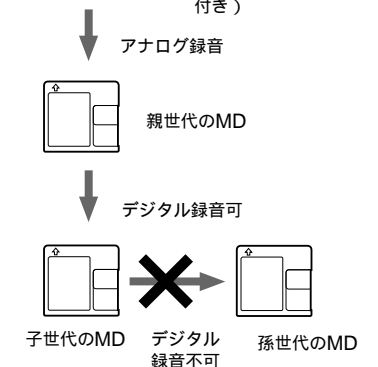
次のような場合、録音もとと同じ位置に頭出しマーク（曲番）が記録されないことがあります。
- 一部のCDプレーヤーやマルチディスクプレーヤーから、光デジタル入力で録音する場合
- CDやMDソフトをプログラム演奏などにして光デジタル入力で録音する場合（このような場合には、録音もとを通常の再生状態にしてディスクに録音してください。）
- BS、CS放送の番組を光デジタル入力で録音する場合

Q3: 録音するとき、いつも録音済み部分の後ろから録音をはじめるには？

A3: 録音開始位置（「REC-Posi」）の設定で「From End」を選びます。
録音開始位置の設定のしかたについて詳しくは、「上書きをせずに録音する」（64ページ）をご覧ください。

Q4: 光デジタル出力ジャックがない機器から録音できますか？

A4: デジタル録音はできませんが、アナログ出力ジャック（LINE OUT/AUX OUT/REC OUT/CD OUT ジャック、ヘッドホンジャックなど）を使えば、アナログ録音はできます。
ヘッドホンジャックから録音する場合、音が歪まないように（一番大きな音が入力されたとき、録音レベル表示の左から5番めのバーが点灯するくらいに）、つないだ先の機器の音量を調整してください。
録音レベルの調整のしかたについて詳しくは、「手動で録音レベルを調節する」（31ページ）をご覧ください。

Q5: デジタル録音をしたMDを他のMDに録音できますか？

A5: CDや再生専用MDなどの市販ソフトから、光デジタル入力端子を使って録音したミニディスクは、さらに他の機器でデジタル録音することはできません。
本機は、音楽ソフトの著作権を保護するため、「シリアルコピーマネジメントシステム（SCMS）」に準拠しています。光デジタル入力で録音したミニディスクを別のミニディスクに録音するには、アナログ入力（LINE IN）を使ってください。

ご注意

著作権を保護するためのコピーコントロール信号を除去、改変してコピーを作成することは、個人として楽しむ目的であっても法律で禁止されています。

Q6: MDの曲番はどうやってつくの？

A6: CDなど曲番のついたメディアから録音した場合、レコーダーは次のような条件で 曲番をつけます。
デジタル入力からの録音→録音元のCDなどと同じところにつく。
アナログ入力からの録音→2秒間以上無音状態が続き、その後音声が入ってきたときにつく。
なお、CDで「-0:03」から新しい曲番が始まっているときは、0:00になった時点でMDに新しい曲番がつきます。

Q7: 無音レベルとは？

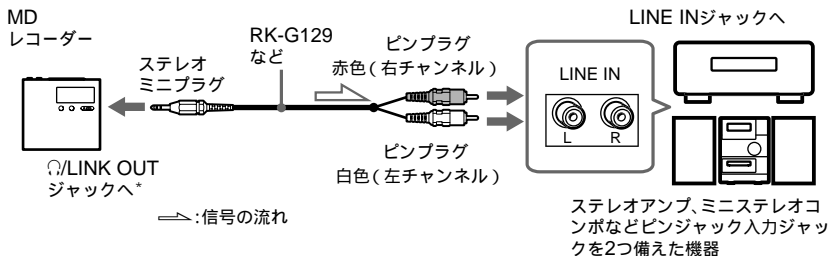
A7 本機ではアナログ入力時は約4.8 mV（Manual REC時を除く）、光デジタル入力時はフルビットを0 dBとした場合、約–89 dB以下の入力レベルです。

Q8: 曲数も録音時間も余裕があるのに、「TR FULL」表示が出て、録音が止まるのはなぜ？

A8: システム上の制約です。
同じディスクで録音、消去をくりかえすと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは曲の区切り（1曲）と同じ扱いになり、データが全部で254個になると、録音できなくなります。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。

再生

Q1: ステレオコンポやラジカセ、アンプなどにつないでMDウォークマンの音を再生するには？

A1: MDウォークマンの🎧/LINK OUTジャックと、ラジカセやアンプなどのLINE IN/AUX IN/REC INなどの入力ジャックにつなぎ、MDウォークマン側で操作します。

* 🎧/LINK OUT出力の設定を「LINK OUT」にしてください。詳しくは45ページをご覧ください。

Q2: 編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれるのはなぜ？

A2: システム上の制約です。
再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、短い曲がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

編集

Q1: トラックマーク(曲番)が消せないのはなぜ？

A1: 以下の場合はシステム上の制約により、トラックマークが消せません。

- つなごうとする曲のデータがディスク上に分散し、それぞれのデータの長さが短い（ステレオ録音時は12秒以下、LP2／モノラル録音時は24秒以下、またはLP4録音時は48秒以下）のとき、その曲の頭出しマーク（曲番）を消して前の曲とつなぐことができない場合があります。
- 異なる録音モード（例えば、LP2とLP4など）で録音された曲の間の頭出しマークは消すことができません。

Q2: 曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えないのはなぜ？

A2: システム上の制約です。
ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下（ステレオ録音時）、24秒以下（LP2ステレオ録音、モノラル録音時）、または48秒以下（LP4ステレオ録音時）の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。

Q3: ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間(60分、74分、80分)に一致しないのはなぜ？

A3: システム上の制約です。
通常、録音はステレオ録音時で約2秒、LP2ステレオ録音またはモノラル録音時で約4秒、LP4ステレオ録音時で約8秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒（4秒または8秒）に満たない場合でも約2秒（4秒または8秒）分のスペースを使います。また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約2秒（4秒または8秒）分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒（12秒または24秒）ずつ短くなります。

グループ機能

Q1: 「グループ設定」の方法は？

A1: 4つの方法があります。詳しい手順については、参照ページをご覧ください。

録音前

- メニューの「□:REC」の設定を「□:REC ON」にする。（「録音をする時、常にグループにして録音する」（34ページ））

録音時

- 新しいグループを作って録音する
  停止中にEND SEARCHボタンを押して録音を始めると、新しいグループを作ってそのグループの中に録音します。（「新しくグループを作って録音する」（34ページ））
- 既存のグループに新しく曲を録音する
  グループを選んでから録音します。（「既存のグループに追加録音する」（35ページ））

録音後

- 録音済みのディスクをグループ設定する
  グループにしたい曲の1曲目と最後の曲を選んでグループ設定します。（「曲やグループを1つのグループにまとめる（グループ設定）」（47ページ））

Q2: はなれている曲やグループを1つにまとめるには？

A2: あらかじめ、まとめたい曲やグループをとなり合わせに連続させた後、グループ設定を行います。
詳しくは「曲順を変える（ムーブ）」（53ページ）、「グループの順番を並べかえる（グループムーブ）」（54ページ）をご覧ください。

Q3: グループ名はどうやって記録される？

A3: グループ機能を使って録音すると、グループ情報は「ディスク名」としてディスク名の記録領域に自動的に記録されます。具体的には次のような文字列が書き込まれます。

ディスク名の記録領域
例）

0;Favorites//2-4;Rock//6-9;Pops//

①　　②　　③

①ディスク名：「Favorites」
②2曲めから4曲めのグループ名：「Rock」
③6曲めから9曲めのグループ名：「Pops」

グループ設定されたMDをグループ機能未対応機器で読み込むと、前記の文字列がそのまま「ディスク名」として表示されます。
本機では、通常はこの文字列は表示されませんが、ディスク名の編集中にGROUPボタン（リモコンでは +または–ボタン）を2秒以上押すと、この文字列を表示することができ、グループ名を直接編集することができます。

Q4: 新しいグループが録音されない、新しいグループを設定できないのはなぜ？

A4: ディスク全体の入力文字数の合計が制限を超えたためかもしれません（システム上の制約）。
A3のとおり、グループ情報はディスク名の領域を使って行われます。ディスク名と曲名は同じ領域に記録され、最大文字数はディスク名（グループ情報含む）と曲名合計で約1700文字です。この文字数を超えた場合、グループモードで録音しても新しいグループは作成されません。また、グループ設定しようとしてもできません。

索引

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

ら行

アルファベット・数字

お問合せ窓口のご案内

本機についてご不明な点や**技術的なご質問、故障と思われるときのご相談**については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには ⇨ パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ**
  （http://www.sony.co.jp/support-pa/）
  本機に関する最新サポート情報や、お問合せが多い質問と回答をご案内しています。
- **電話・FAXでのお問い合わせは ⇨ お客様ご相談センターへ（下記参照）**
  - 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]−[ウォークマン]です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆ セット本体に関するご質問時：
    - 型名：
    - シリアル番号：記載位置は別紙「カスタマー登録のお願い」を参照
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆ 付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    - ソフトウェアのバージョン：
    - お使いのパソコン（メーカー名／型名）
    - パソコンにインストールされているOS名：
    - メモリ容量／ハードディスクの空き容量：
    - CD-ROMドライブの型名／種類（外付けまたは内蔵）：
    - エラーメッセージ（エラーメッセージが表示された場合）：

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル ………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ……………………… 0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00 土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35

この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

* 3 2 6 3 7 0 5 0 4 * (1)